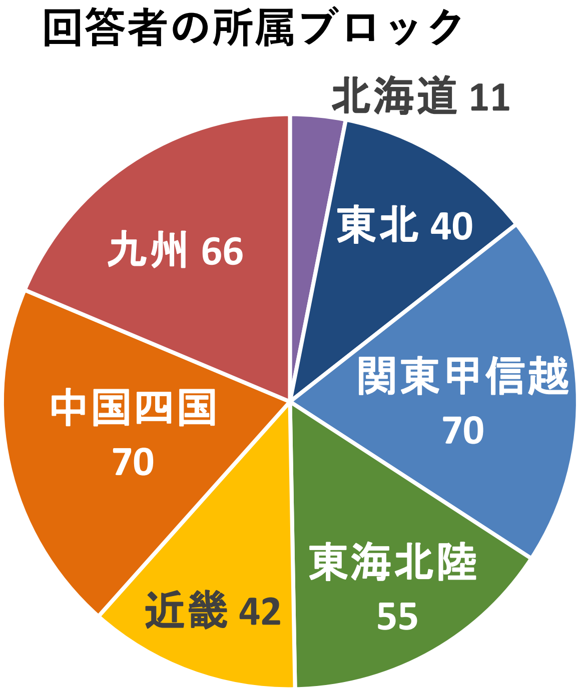
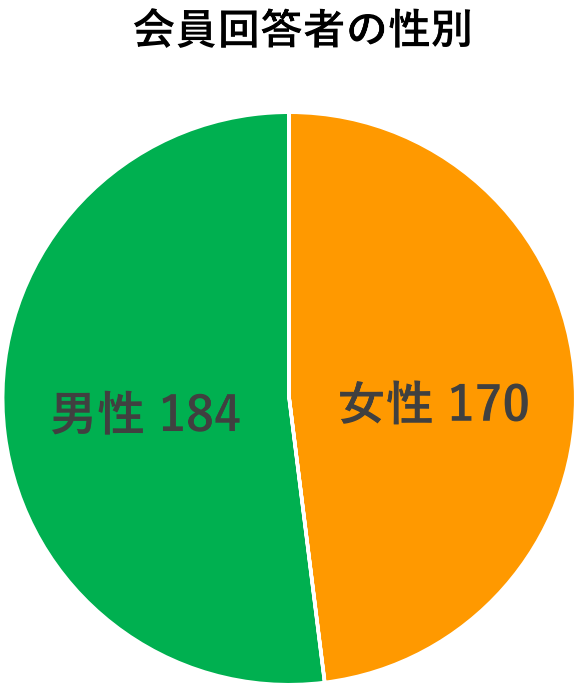
「アンケート結果報告」

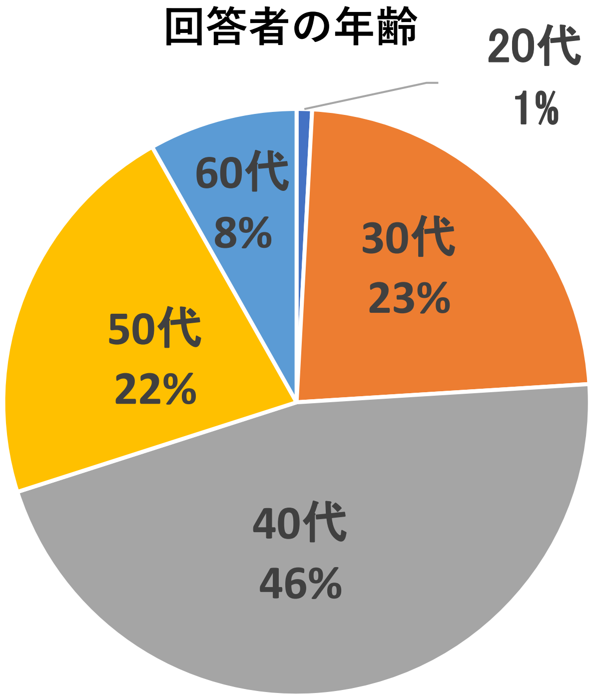
日本建築士会連合会女性委員会 副委員長
石貫 方子
（公社）大阪府建築士会 所属

アンケート実施概要

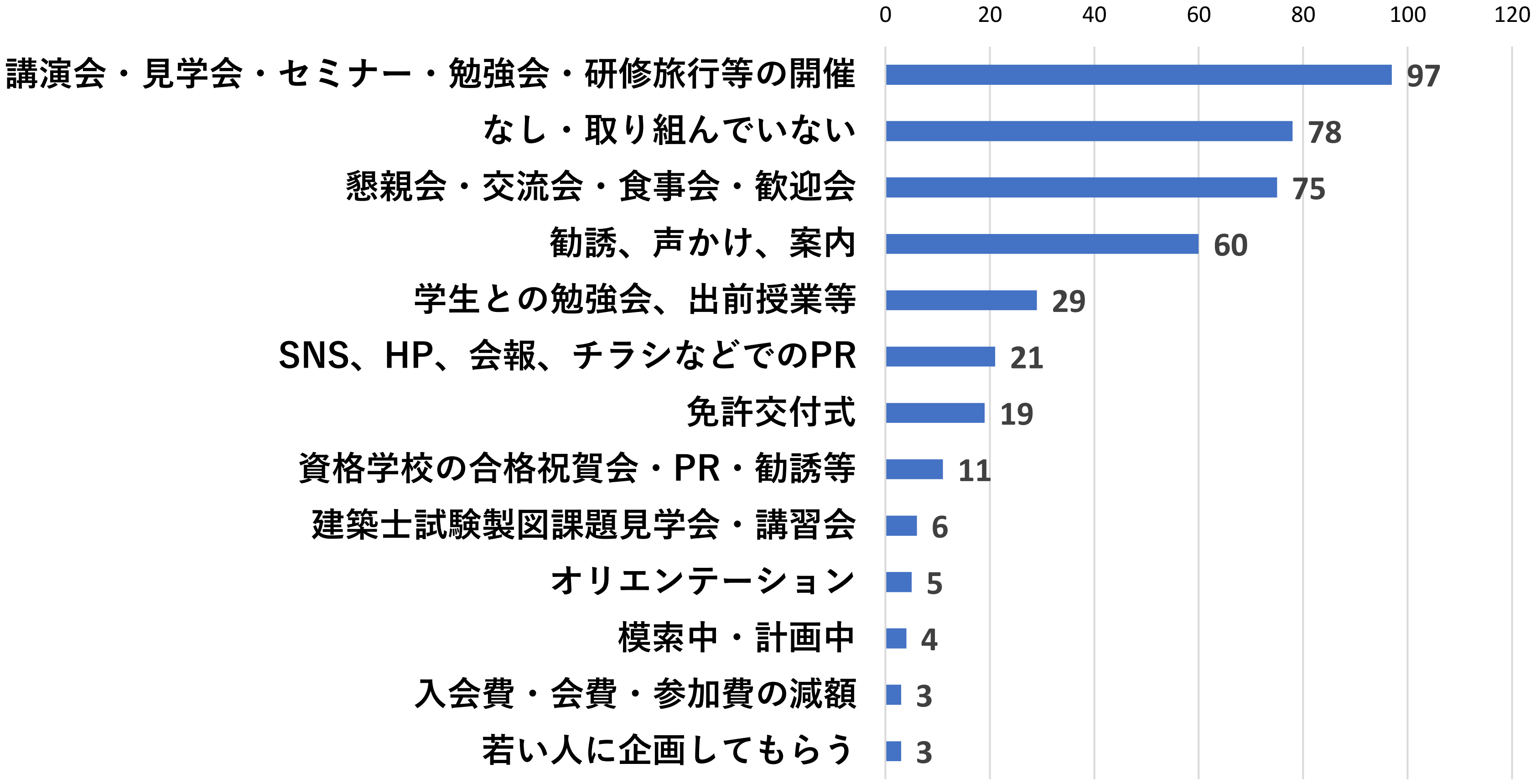
アンケート対象：全国の建築士会の女性会員・青年会員・事務局
アンケート期間：令和 5年 6月 5日～19日
回　答　数　　：会員　　　354人（女性会員　170人、青年会員　184人）
　　　　　　　　事務局　　 47士会





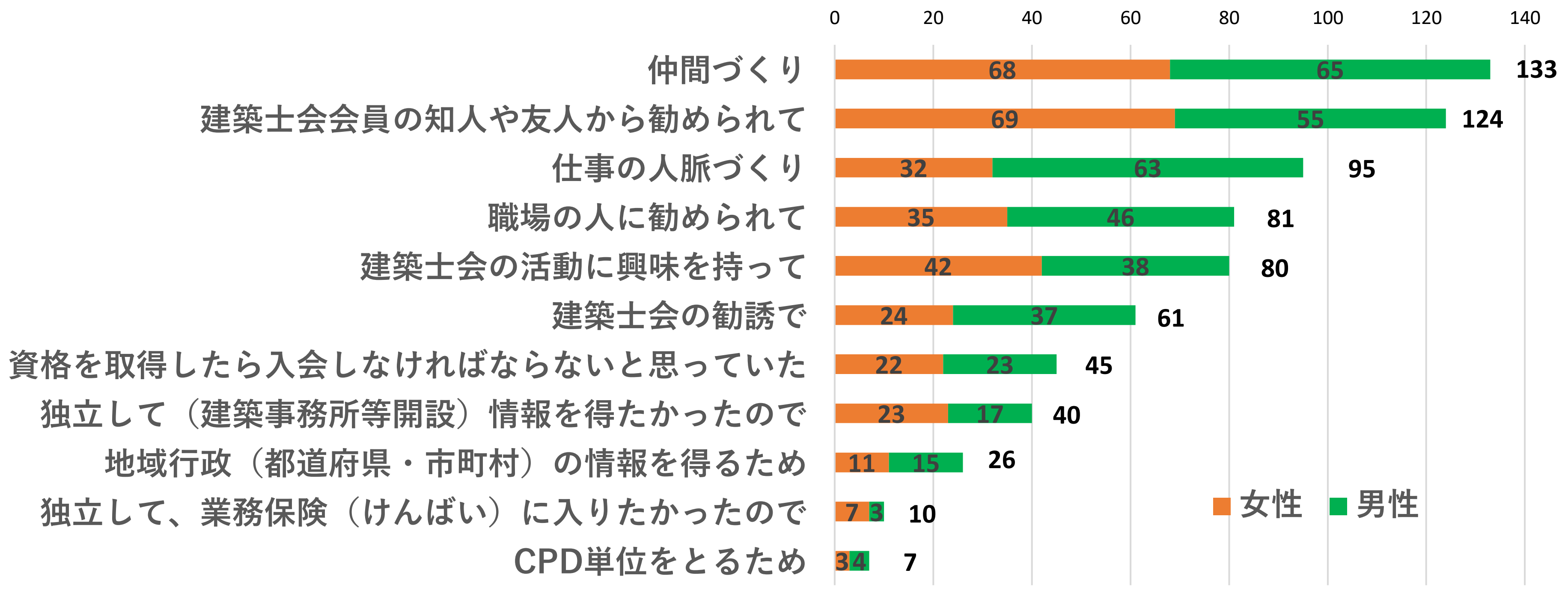


5. 女性及び青年会員を増やすために何か特別な取り組みをしていますか？



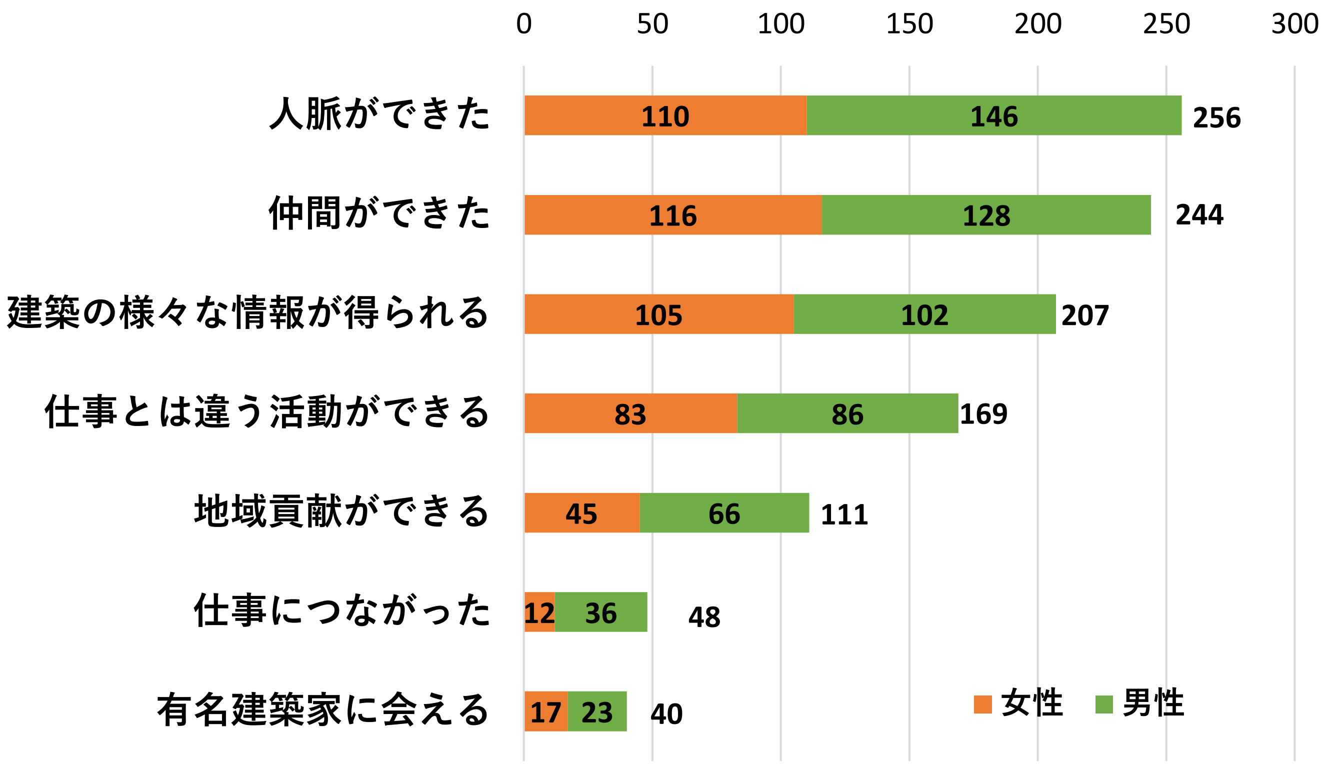
その他の回答：
次世代育成プロジェクト、**地域実践活動**のレポートコンペ、**試験合格者**も士会の対象に、**新入会員情報**の共有、**休日に免許申請受付**、**会員増強**委員会、**家族や子供連れ**で参加可能、活動に参加、青年・女性の区別をする必要性を感じない、**会社訪問**、例会の定例化、県内**各地域**での委員会開催、メンバー全員がサポート、**アンケート**の実施、**楽しい活動**を心がける、**現会員**を大切にする、わからない、回答無し

6. 建築士会入会のきっかけ



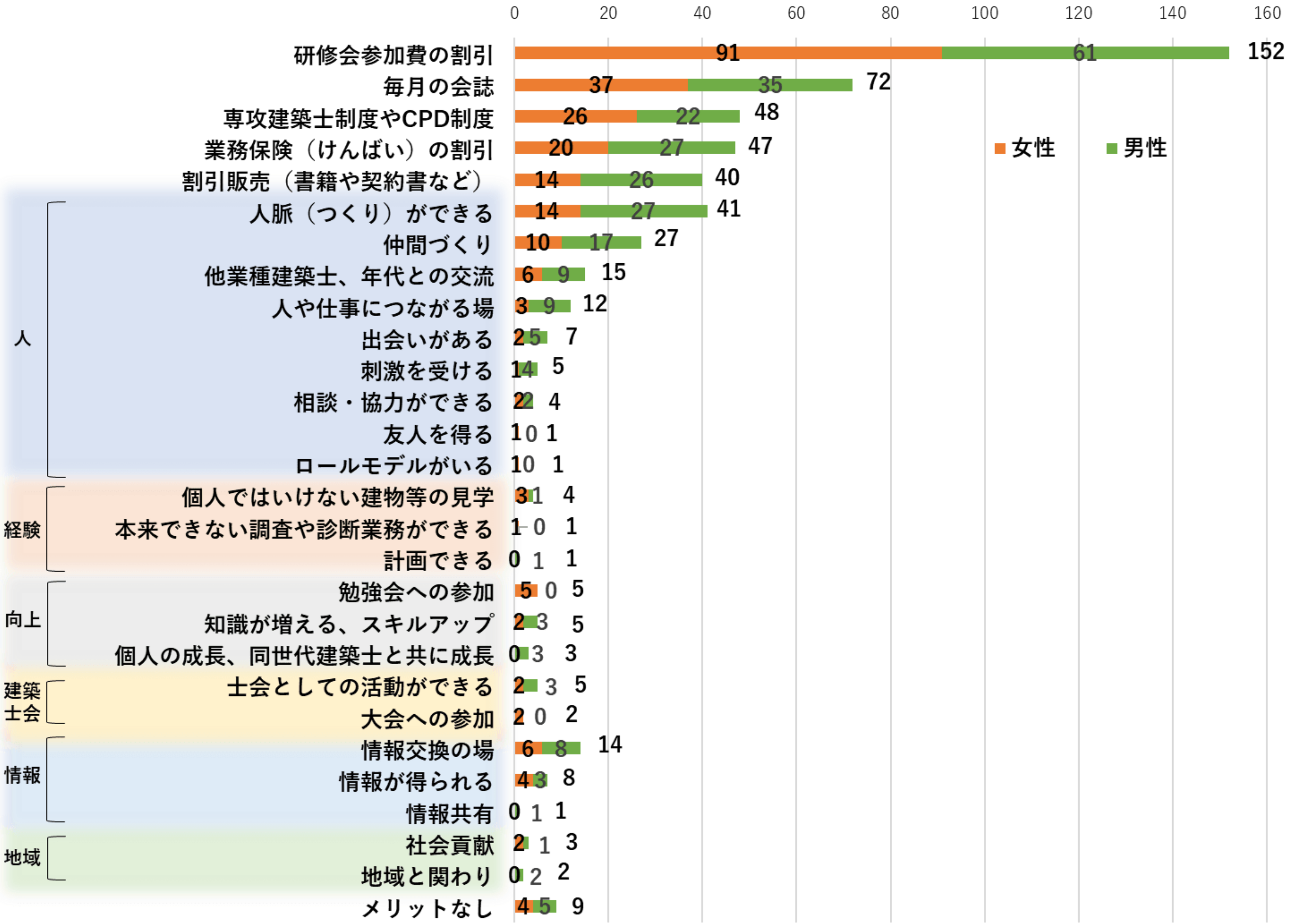
その他の回答：
家族（両親、親、祖父等）が入会していたから、**情報**を得るため、講習会など**自己研鑽**、**委員会活動**のため、**会社**が会費負担して入会、**資格学校**が会費サポート、なんとなく、会員減少

7. 建築士会に入会して良かったことは何ですか ？



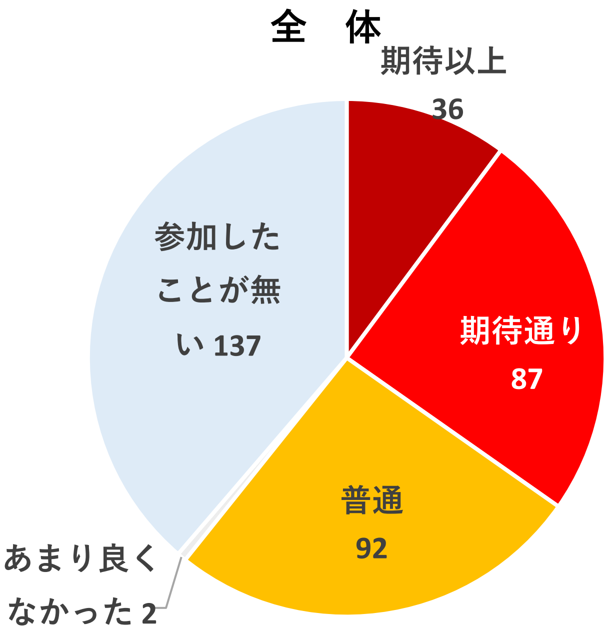
その他の回答：
建築団体だから可能な**建物の見学**ができる、**伴侶**に出会えた、大会後の**懇親会**が楽しい、士会の**社会的信用**がある為、**個人や会社ではアプローチできない活動**がしやすい、色んな**経験値**が増えた、**研修の情報**が得られる、いろんな方がいるので自分の**人間形成**に役立っている

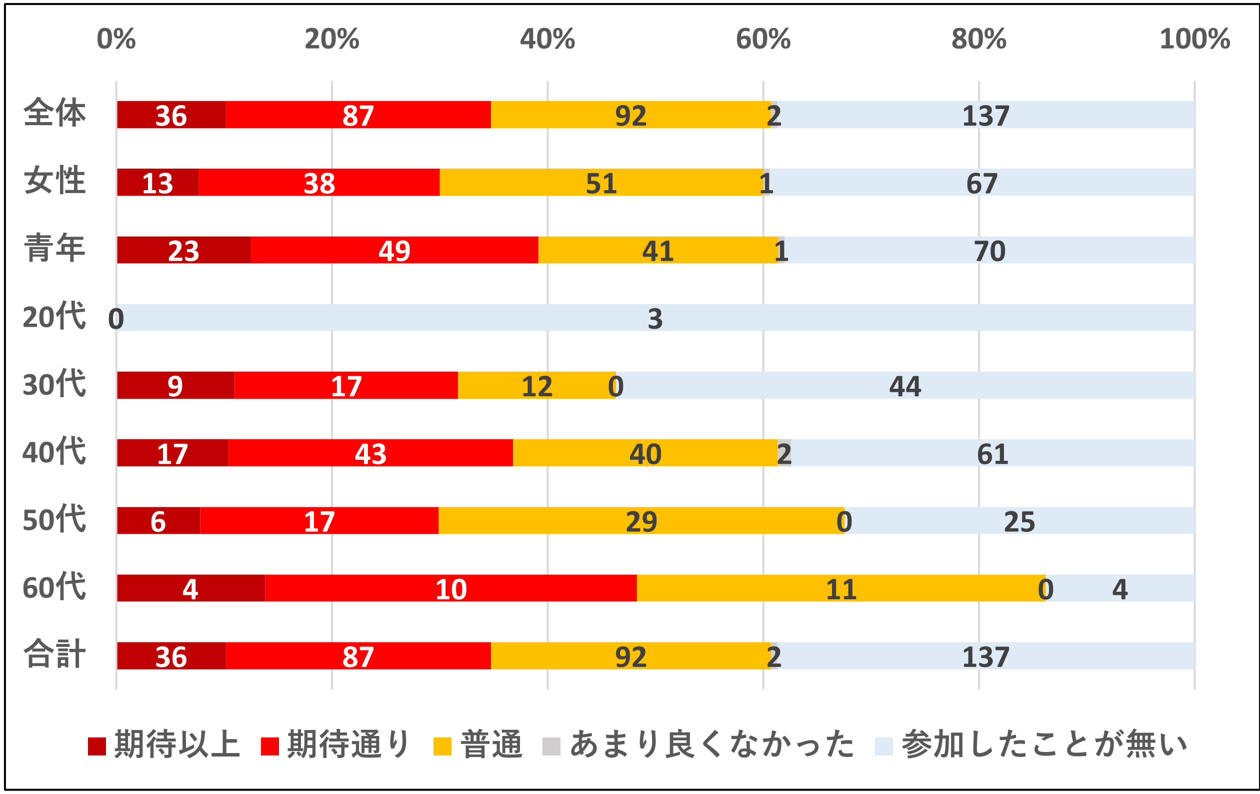
8. 建築士会の会員メリットは何だと思いますか？



9-1. 全国大会に参加した感想は？

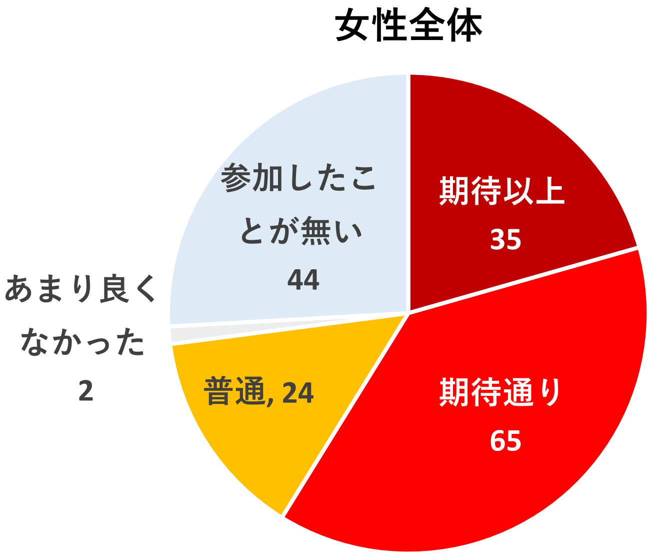
全国大会		全体	女性	男性	20代	30代	40代	50代	60代	合計	割合
ある	期待以上	36	13	23	0	9	17	6	4	36	10.2%
	期待通り	87	38	49	0	17	43	17	10	87	24.6%
	普通	92	51	41	0	12	40	**29**	**11**	92	26.0%
	あまり良くなかった	2	1	1	0	0	2	0	0	2	1.5%
参加したことが無い		**137**	**67**	**70**	**3**	**44**	**61**	25	4	**137**	**38.7%**
合計		354	170	184	3	82	163	77	29	354	

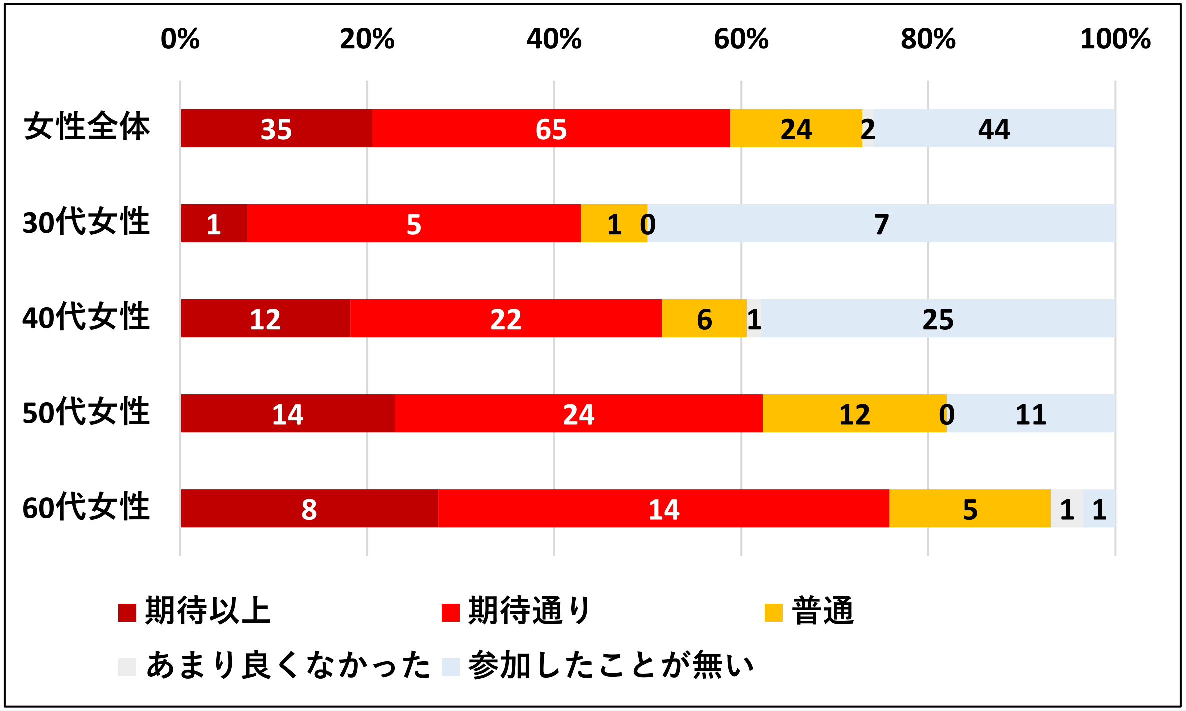




9 - 2 . 全国女性建築士連絡協議会（全建女）に参加した感想は？

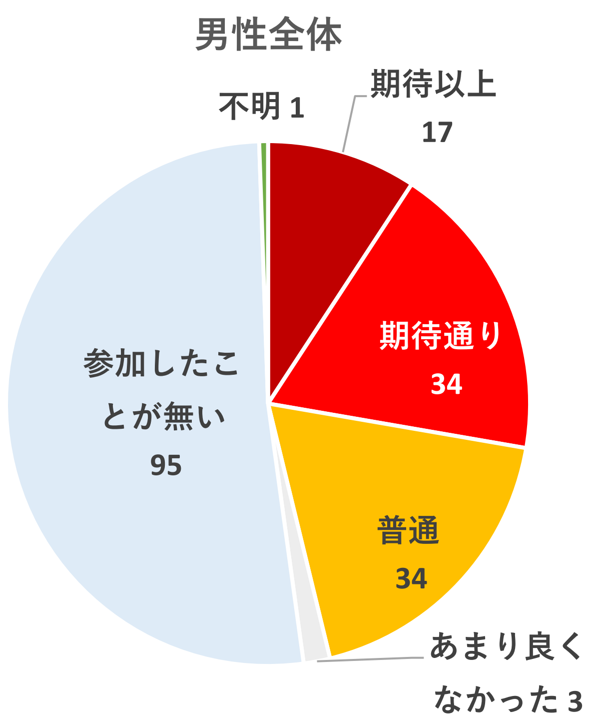
全国女性建築士連絡協議会		全体	女性	男性	20代女性	30代女性	40代女性	50代女性	60代女性	合計	割合
ある	期待以上	42	35	7	0	1	12	14	8	35	20.6%
	期待通り	77	**65**	12	0	5	22	**24**	**14**	**65**	**38.2%**
	普通	34	24	10	0	1	6	12	5	24	14.1%
	あまり良くなかった	2	2	0	0	0	1	0	1	2	1.2%
参加したことが無い		**197**	44	**153**	0	**7**	**25**	11	1	44	25.9%
不明		2	0	2	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計		354	170	184	0	14	66	61	29	170	

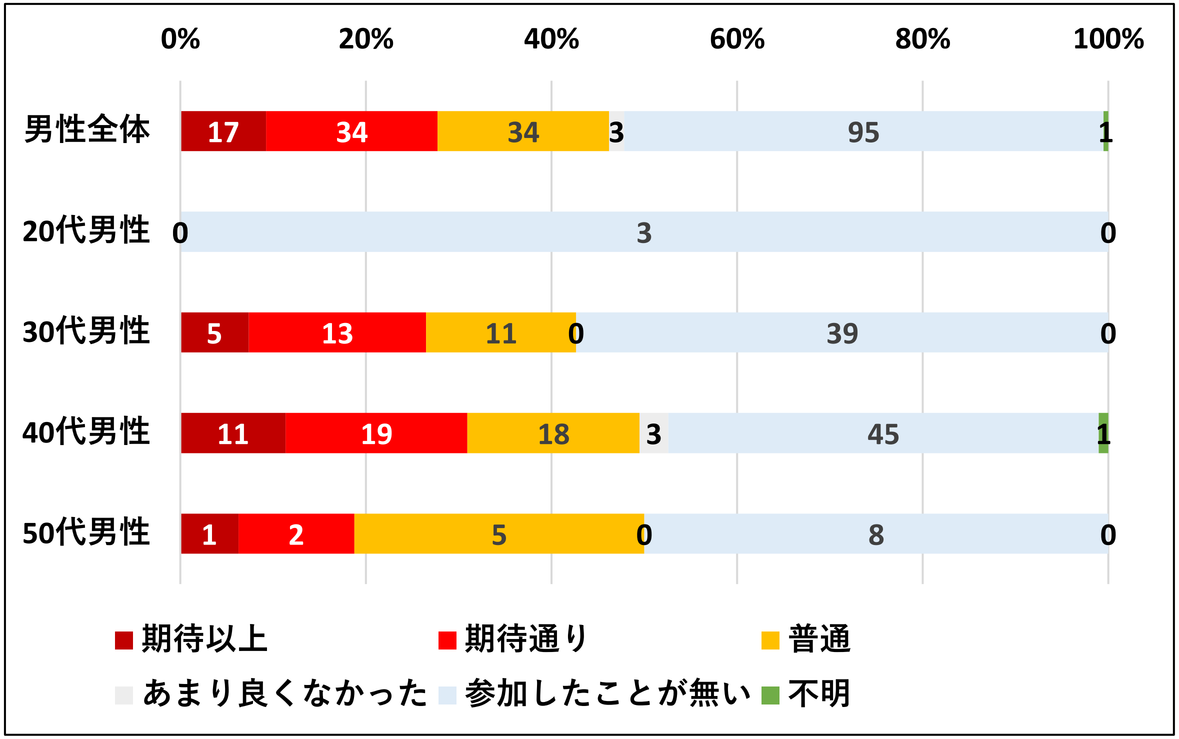




9-3. 青年フォーラムに参加した感想は？

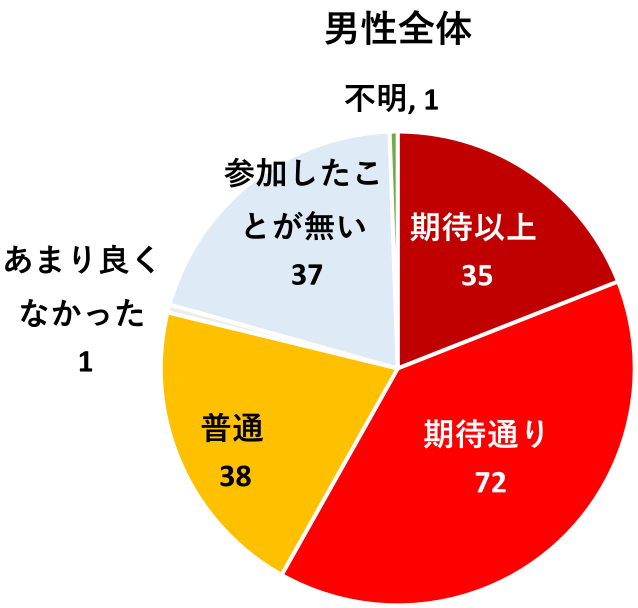
青年フォーラム		全体	女性	男性	20代男性	30代男性	40代男性	50代男性	60代男性	合計	割合
ある	期待以上	20	3	17	0	5	11	1	0	17	9.2%
	期待通り	47	13	34	0	13	19	2	0	34	18.5%
	普通	47	13	34	0	11	18	5	0	34	18.5%
	あまり良くなかった	3	0	3	0	0	3	0	0	3	1.6%
参加したことが無い		**235**	**140**	**95**	**3**	**39**	**45**	**8**	0	**95**	**51.6%**
不明		2	1	1	0	0	1	0	0	1	0.5%
合計		354	170	184	3	68	97	16	0	184	

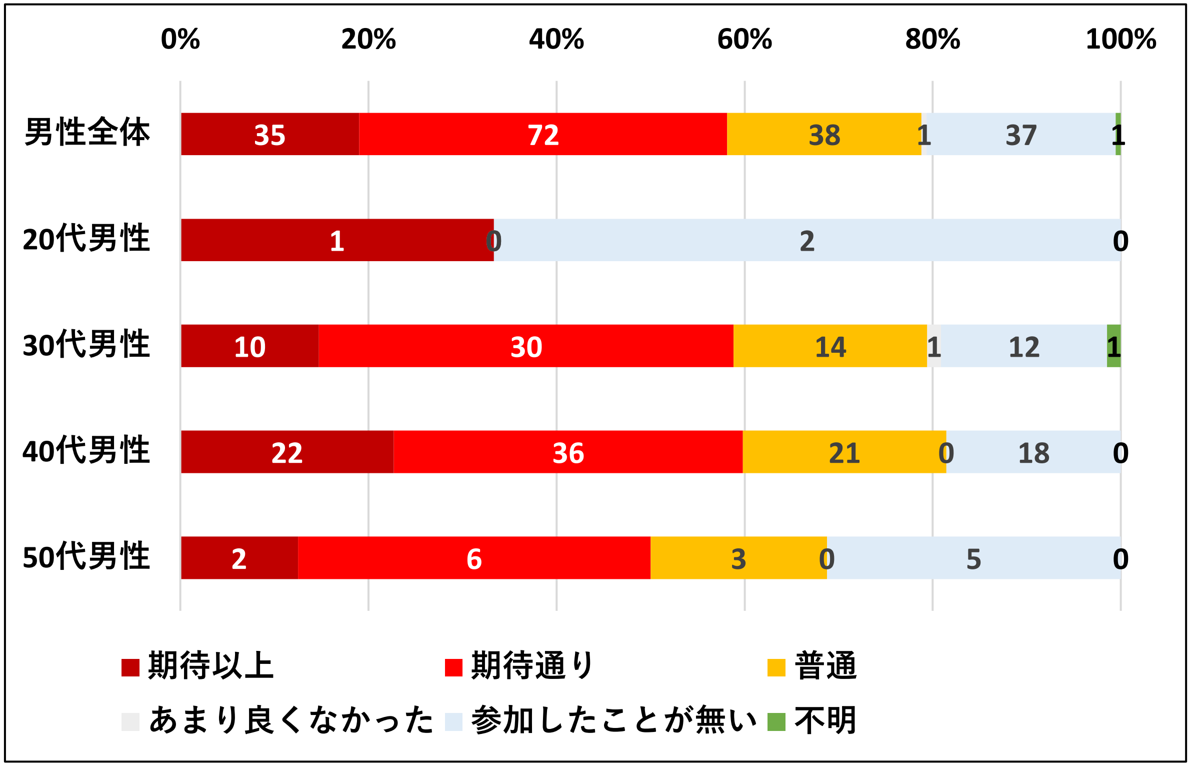




9-4.ブロック青年大会に参加した感想は？

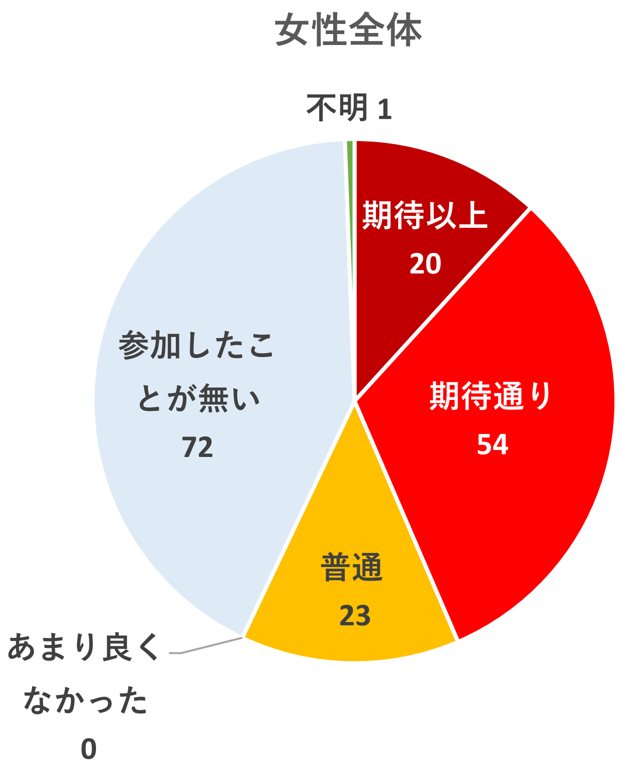
ブロック青年大会		全体	女性	男性	20代男性	30代男性	40代男性	50代男性	60代男性	合計	割合
ある	期待以上	55	20	35	1	10	22	2	0	35	19.0%
	期待通り	107	35	**72**	0	**30**	**36**	**6**	0	**72**	**39.1%**
	普通	58	20	38	0	14	21	3	0	38	20.7%
	あまり良くなかった	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0.5%
参加したことが無い		**130**	**93**	37	**2**	12	18	5	0	37	20.1%
不明		3	2	1	0	1	0	0	0	1	0.5%
合計		354	170	184	3	68	97	16	0	184	

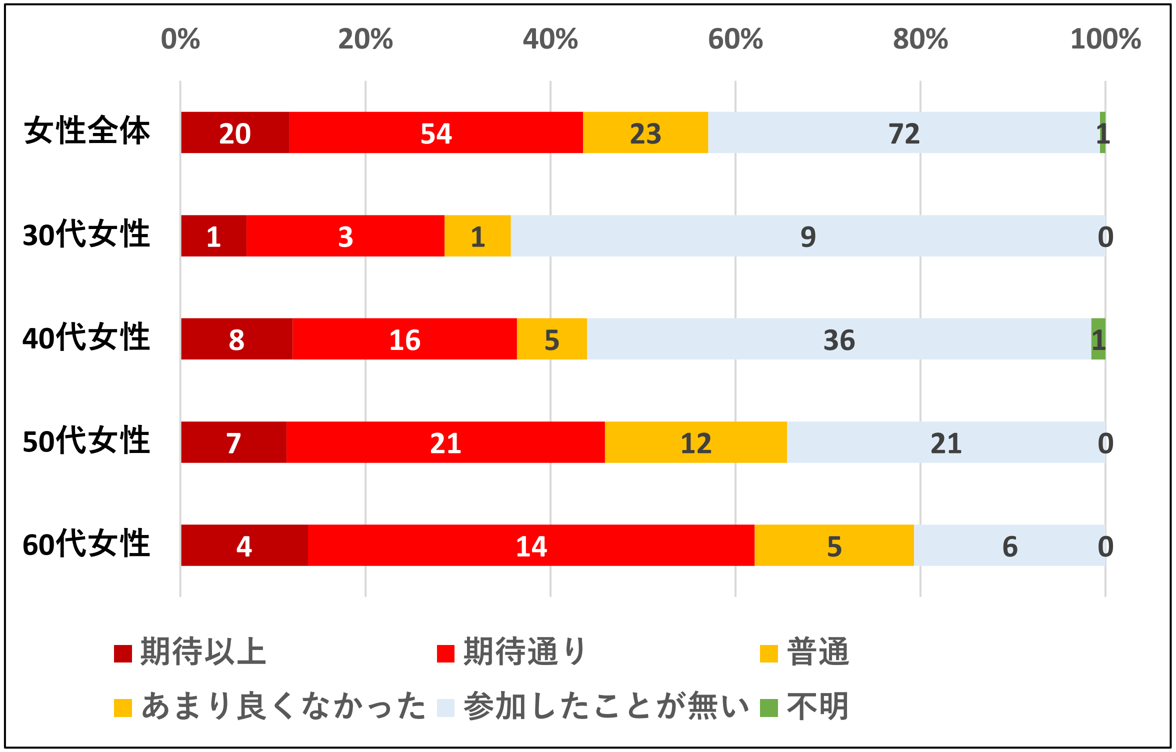




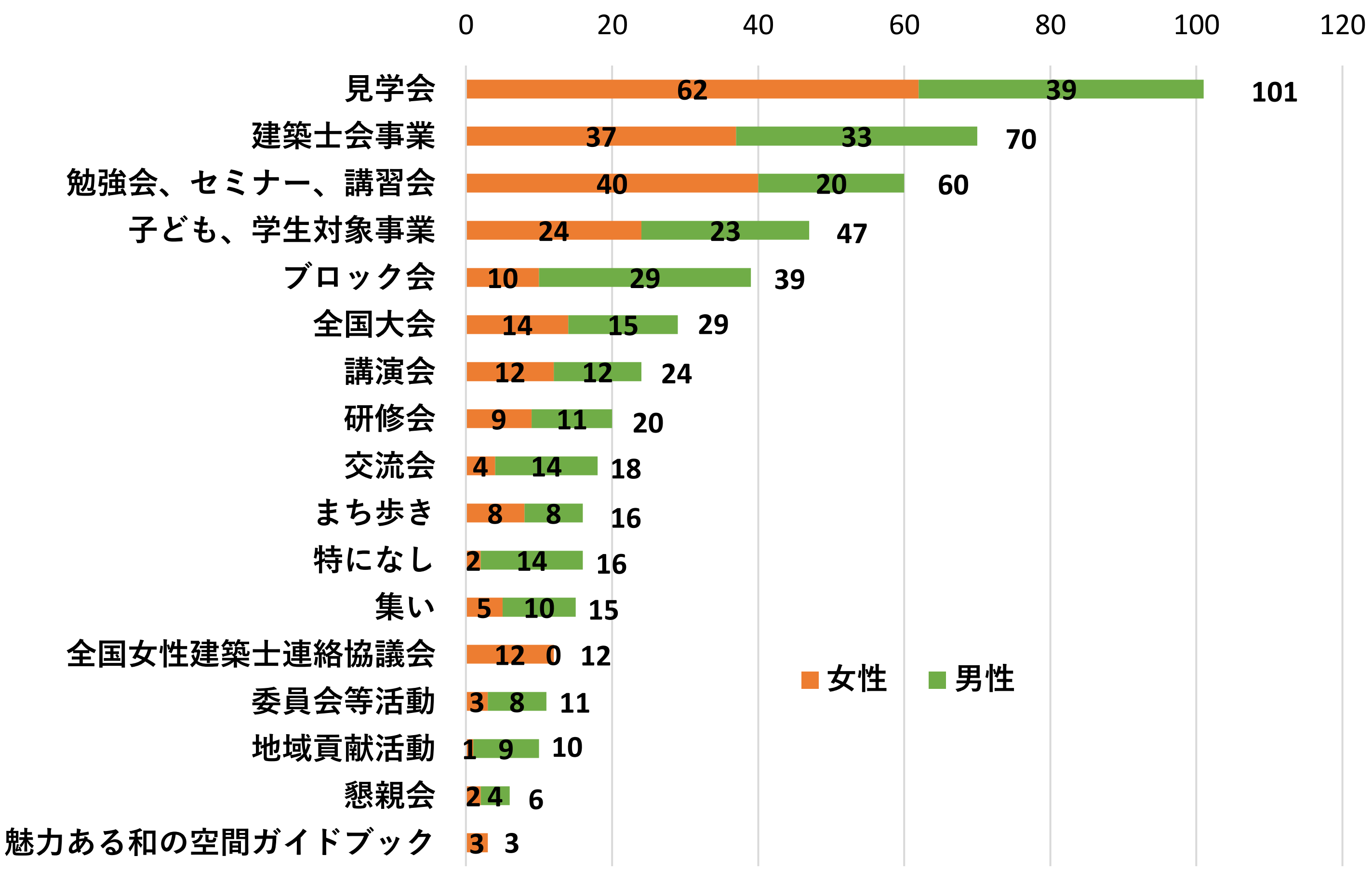
9-5．ブロック女性大会に参加した感想は？

ブロック女性大会		全体	女性	男性	20代女性	30代女性	40代女性	50代女性	60代女性	合計	割合
ある	期待以上	26	20	6	0	1	8	7	4	20	11.7%
	期待通り	67	54	13	0	3	16	**21**	**14**	54	31.6%
	普通	32	23	9	0	1	5	12	5	23	13.5%
	あまり良くなかった	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0.0%
参加したことが無い		**225**	**72**	**153**	0	**9**	**36**	**21**	6	**72**	**42.1%**
不明		3	1	2	0	0	1	0	0	1	0.6%
合計		354	170	184	0	14	66	61	29	170	



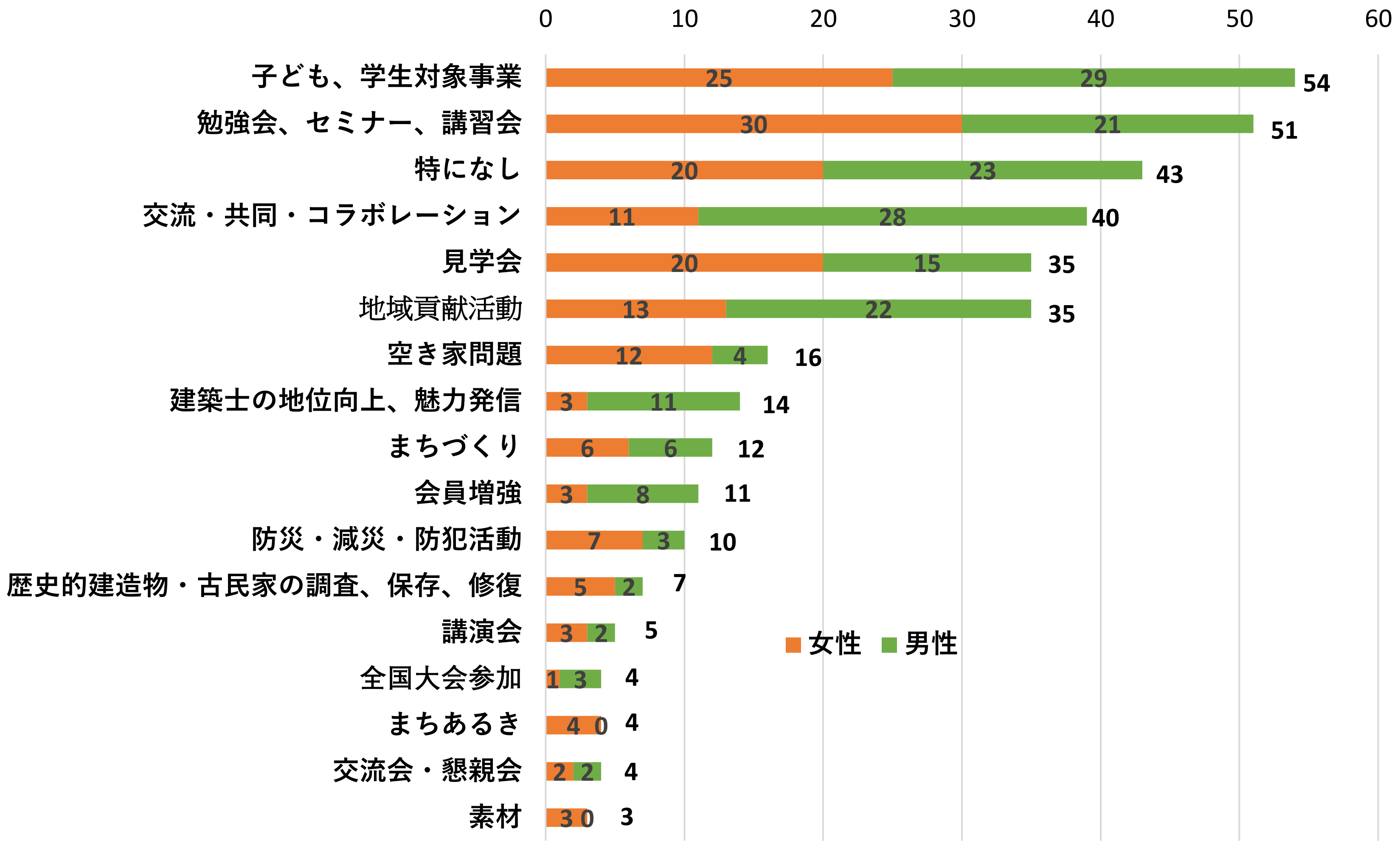


10. 建築士会の事業で楽しかった企画や興味を持った企画



その他の回答：一級建築士設計製図試験、建築士会の職能

11. これから取り組んでみたい活動

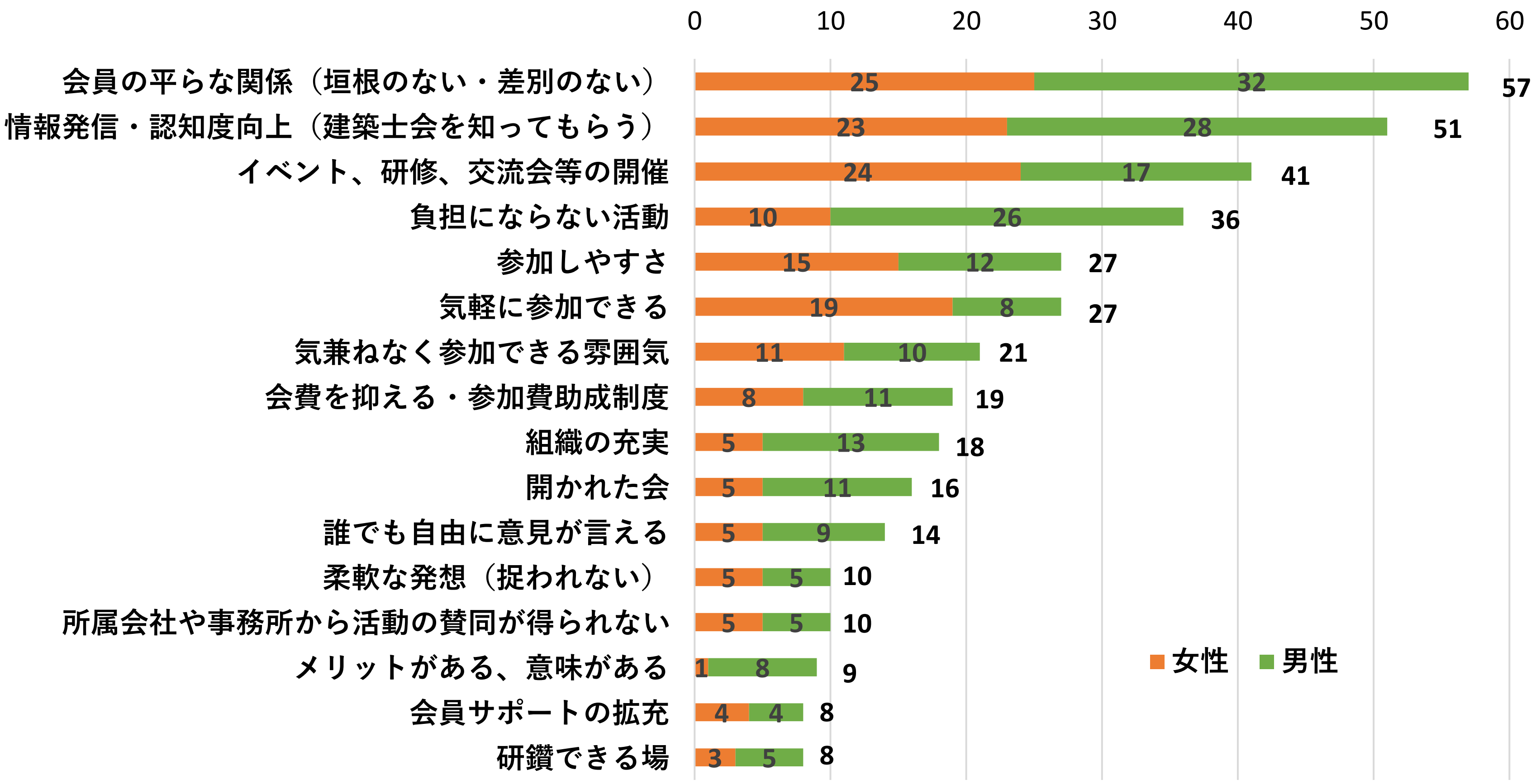


11. これから取り組んでみたい活動

その他の回答（女性）：
子育て世帯・高齢者が住みやすい地域にする為の問題点と改善点の洗い出し、役員の**若返り**、**若手**の応援、子育てが一段落した今これから結婚子育てに進む若い女性建築士に仕事を諦めない**情報交換の場**を提供したり、**アドバイス**をしたりしたい、**女性建築家の先達の仕事**を知る、バリアフリー、ユニバーサルデザイン、インクルーシブデザインと、**誰もが使いやすい、住みやすいとされるモノや住まい**、またその仕組みづくり、環境づくりについて、掘り下げてみたい、親睦が深まる楽しい企画、**現場女子**のよろず相談会、若い建築士との**世代を繋ぐ活動**、**ブログ**写真、**ドローン**撮影、**全国**の女性会員の方々とお知り合いになりたい、変化するこれからの**住宅供給**に関連する事、**全建女に男性も参加**してもらう事、**各地域**の建築事情、**風習**の違い、**生活環境(気候)**などの特色や違い、**モバイルスタンプラリー**、**人のつながり**が生まれるような活動、個人の**スキルがアップ**するような活動（企画力、プレゼン力、デザイン力）、**高齢者**の住宅リフォーム相談、**子ども環境づくり**のワークショップ、士会会員が**自分の仕事を語る**会、住まいの**終活**、会員相互の**情報共有**をもっと行いたい、**職業講話**、**県産材**を利用した住宅建築の推進

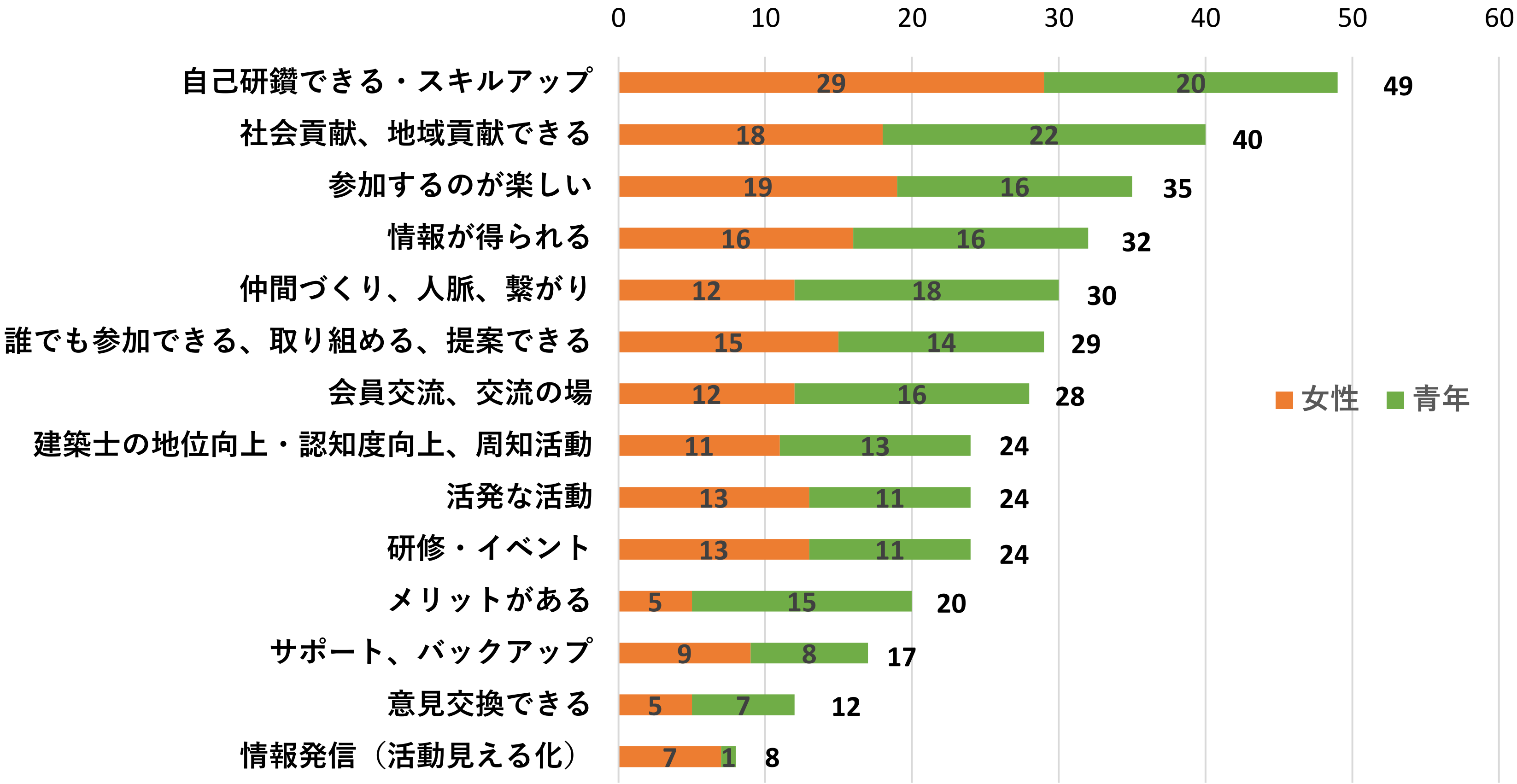
その他の回答（男性）：
青年活動の**継続**、**キャンプ**、**お泊り**会、いまさら聞けない仕事の**疑問を解決**する集まり、建築士だから出来る**地域実践活動**を充実、講習会等の**割引**、**地域の魅力**を活かした活動、**新技術**など建築士の育成にかかわる活動、**会員結びつきの強化**、青年委員会の**メンバーが望む活動**、**支部活動**の活性化、県青年委員がだれでも交流でき県青年委員が楽しく**自己研鑽**をしつつ、新潟県の建築士会の活性化に繋がり、県青年が各地域で率先してリーダーとなれる自覚を持つための活動、継続的かつ収益を上げられる事業の開発、**エネルギー問題**について、建築士試験を受験予定の人たちへの手助け、組織としてより強いものにするような活動、**既存の建築**（貴重、民家問わず）の**利活用や継承、または建物仕舞い**するかという活動を行なってみたい、**会員サービス**の充実化、女性建築士の活動、仕事に活かせる**アプリの情報交換**、青年以外の委員会等の活動、**住宅建築のコンクール**、**仕事の人脈**を作れるような事業や活動、**動画サイト**を使った設計や建築に関わる**情報配信**、壮年部を**株式会社**にする、積極的に**外に向けてワークショップ**、**模型**作り、熊本県建築士会館の再生、**耐震技術やBMI活用**などの新しい技術に関する活動、省エネの基準が厳しくなるなか、**意匠事務所でも住宅規模なら申請できるスキル**を提供できないか、**シンポジウム**的なイベント

12. あなたが考える「誰もが参加しやすい建築士会」とは？



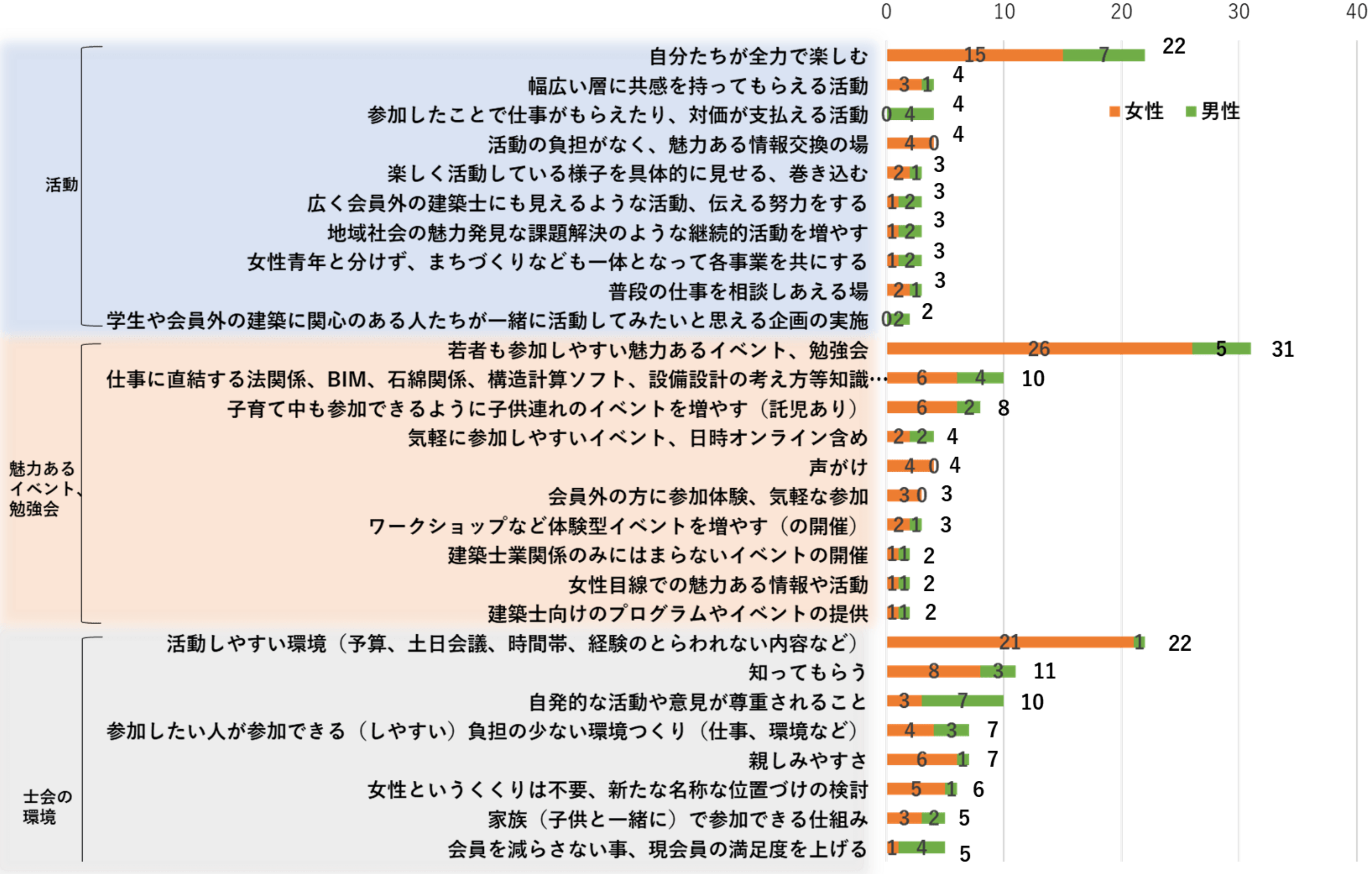
その他の回答：
仲間づくりができる(6)、参加するのが**楽しい**(6)、**居場所**となる(3)、**若い人**が多い(2)、建築士**資格取得と同時に入会**のシステム(2)、建築士としての矜持を持ちながら、**社会とのかかわり**を持って進んでいることが見える化できている建築士会、建築士の資格者である**会員を守れる建築士会**になれば会員は増える、士会に限らず何においても**個人の意識次第**であると考える、わからない、回答無し

13. あなたが考える「魅力ある建築士会」とは？

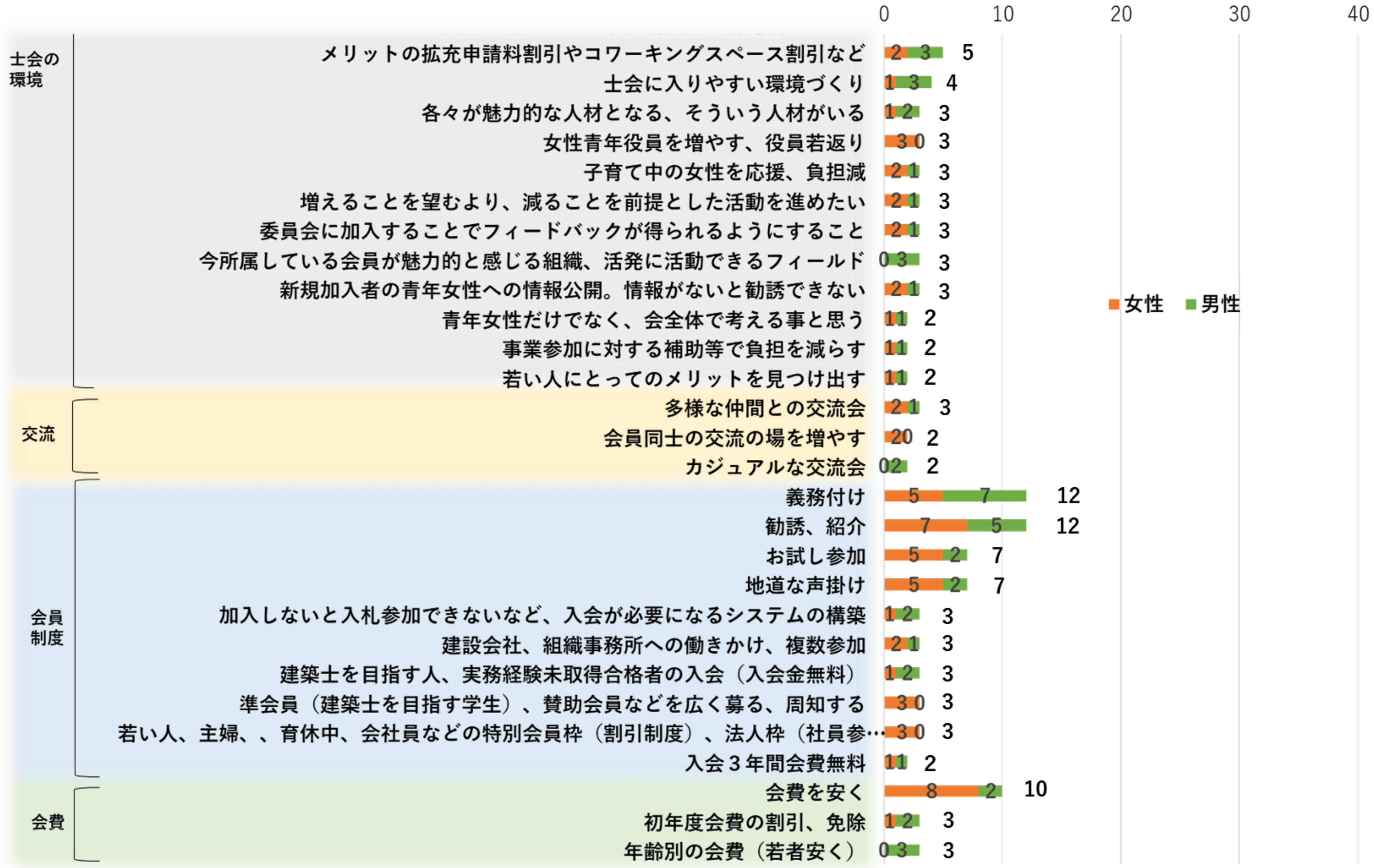


その他の回答：
仕事に役立つ(5)、**魅力ある会員**がいる(4)、活動の**負担が少ない**(4)、**若手**が活動できる(3)、**自主的、積極的に活動**している(3)、**社会に提言**できる建築士会(2)、建築士の為になる、建築士の専門性に特化しつつも、**幅広い見識を有する方々の集団**、業種関係や立場などに関係なく**お互いリスペクトできる会**、建築士の枠に縛られ過ぎず、**自由な発想ができ実現できる会**、各職能を生かした建築士としての活動ができ、建築士として矜持の持てる建築士会、わからない、回答無し

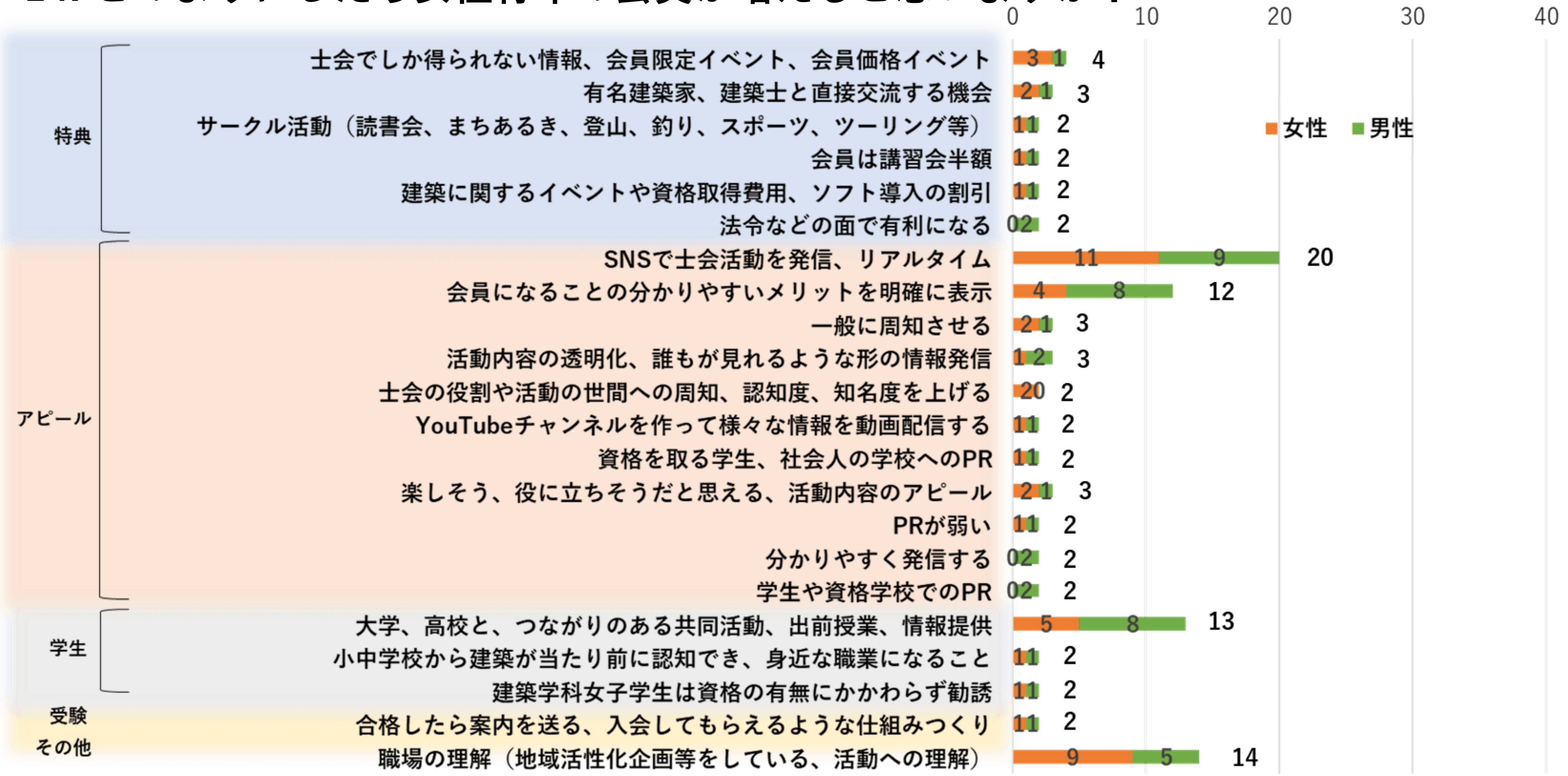
14. どのようにしたら女性青年の会員が増えると思いますか？



14. どのようにしたら女性青年の会員が増えると思いますか？



14. どのようにしたら女性青年の会員が増えると思いますか？



15. 建築士会に対してほかに何かありましたらご自由にご記入ください

項　目	内　容
士会の魅力	**スキルアップ**の場(2)、建築士として尊敬されるような**活動の周知**、**個人の魅力**が士会の魅力、**人脈**、**魅力ある活動**をしやすい場をつくる、**地域**の特色や違いが判る全国大会やブロック大会への参加、産地や工場などモノつくりをみたり聞いたり体験できる**機会が多く持てる会**、分からない事を**質問できる**コーナーがあれば便利、委員会活動が**有意義**、タイムリーなセッションテーマにした方がいい、**ランチ会**の開催をする
士会として	**若手へのフォロー体制**など改善等の機会が必要(3)、会員が減少しても成り立つ会（**スマートな運営**）の検討(2)、**ボランティア**としての活動は慎重にする、**仕事や家庭の負担にならない**バランスを取った内容は必須、**二級建築士も入りやすい**ように、青年事業の**派手化拡張化が負担**に見える、活動してない会員への**参加声がけ**、会員が活動しやすい**環境整備**、役職の**負担大きい**、**子供**も参加できる士会、**経費**適用幅の拡大。役員は**自腹**が増える、**カジュアル**な運営、**他団体**との協力（町内会・子供会・PTAなど）、活動に**参加する会員**が少ない、**メリット**を具体的に**発信する仕組み**の検討、**公共事業**を行うことで赤字会員減で赤字、**女性青年にとらわれず**委員会や支部に賛同できる活動を一緒に出来る体制つくり、**敷居**を低く、**若い女性**世代に興味を持たれるような活動を盛込み、**若者**へアプローチする、**10年後を見据えて**建築士に必要とされる士会への変革、**組織構成**がわからない（説明不足）、**若い**というだけで仕事を振るのではなく全員で手を動かすべき、現会員の満足ややる気を上げるように、**古い体制からの脱却魅力の発信**、講習会費を安く
交　流	**他ブロック**との気軽な交流(3)、人や仕事のつながり**全国**の建築士との交流(2)、**建築とは縁のない人**の交流(2)、個人では繋がれない人との交流の場、仲間ができる、他団体との交流イベント、他業種建築士との交流
入　会	所属しないと仕事（設計）できない（差支える）組織に(4)、義務付け(2)、入会時の女性青年委員会への所属の説明が欲しい、何かで釣って入会してもらう
会員制度	全国的な**学生会員**などの制度
連合会	今後の士会としての在り方について再度検討要(2)、社会的に影響力を持てる会（医師会のように）(2)、災害時にもっとできることがあるのでは、士会活動の業界団体への周知、建築士の地位向上への取組んでほしい、会員になることがステータスとなる仕事やキャリア拡大になる組織、会員増強の予算と政策を導入すべき
連合会など会誌	ペーパーレス化（WEB）(2)、減らした分各地域士会が使えるように発刊数の検討、アーカイブ掲載により一般の方に活動を知ってもらえる、若い人たちにも興味を持てるように工夫する
学　生	学生を巻き込んだセミナー学生の視野が広がるような説明会の開催、小学生への職業紹介や課外授業の開催、建築を学ぶ学生に全建女全国大会への参加呼びかけ
会　費	大会派遣費の助成、会費増は若者の入会減、会誌のWEB配布の選択により会費安く、安くなるとありがたい、リターンに見合った会費設定、安くなるような制度やポイントに導入、若い人が入りやすい金額設定

15. 建築士会に対してほかに何かありましたらご自由にご記入ください

項　目	内　容
広　報	適切な**広報**、各士会別々の**SNS**アカウントをまとめる（他地域の情報収集、情報交換、告知等事務作業の減）
そ　の　他	**女性委員会**への男性会員の委員としての参加、**CPD制度**の改革または廃止、各都道府県士会の**意見**をしっかり吸い上げ迅速に対応できる士会になってほしい、**製図試験**の採点基準等があいまい。はっきりわかる**基準**となるように活動してほしい、国交省発行**バッジ**（弁護士のような）

事務局データ

都道府県名	会員数について							
	会員数 令和４年度末	会員数 平成24年度末 （10年前）	会員数 平成14年度末 （20年前）	会員数が一番多かった 年度と会員数		女性会員数 令和4年度末	青年委員 対象会員数 令和4年度末	青年委員の 年齢範囲
1.北海道	3,621	4,628	6,977	昭和60年度	9,313	256	特に定めなし	特に定めなし
2.青森	987	1,178	1,620	昭和57年	2,139	69	236	45歳まで
3.岩手	1,221	1,620	2,222	不明	3,000以上	不明	不明	各支部判断
4.宮城	743	1,178	2,025	昭和52年度	4,615	91	*	45歳まで
5.秋田	954	1,260	1,920	昭和58年	2,846	62	23	概ね40歳
6.山形	863	1,147	1,468	平成10年	1,536	79	80	45歳まで
7.福島	1,571	2,156	3,415	平成8年	3,721	76	54	45歳まで
8.茨城	1,787	2,442	2,902	平成5年度	3,274	153	212	45歳まで
9.栃木	1,174	1,502	1,773	昭和50年頃	2,500	83	151	45歳まで
10.群馬	1,261	1,711	2,735	昭和58年度	3,500	131	123	45歳まで
11.埼玉	1,272	1,735	2,335	平成5年	2,600	86	31	40歳まで
12.千葉	1,588	2,033	2,918	平成8年度	3,430	159	180	45歳まで
13.東京	5,332	6,771	8,347	平成14年	8,347	666	259	40歳まで
14.神奈川	2,265	3,148	3,538	平成8年度	4107	306	235	45歳まで
15.山梨	1,011	1,183	1,528	平成10年度	1,553	85	122	45歳まで
16.長野	2,142	3,009	4,213	昭和58年度	4,919	179	493	概ね50歳まで
17.新潟	1,800	2,493	3,439	平成7年度	4,313	124	不明	概ね40歳まで
18.静岡	980	1,523	不明	不明	1,523	65	70	45歳まで
19.愛知	3,258	4,419	6,294	昭和59年	8,094	278	343	45歳まで
20.岐阜	951	1,444	1,824	平成10年末	1,937	80	27	自分が青年と思う人
21.三重	723	1,054	1,488	平成14年度	1,488	62	91	45歳まで
22.富山	1,294	2,046	2,588	昭和60年度	2,978	165	230	45歳まで
23.石川	1,194	1,476	2,283	平成8年	2,307	134	126	40歳まで
24.福井	907	1,152	1,603	平成2年度末	1,920	85	126	45歳まで
25.滋賀	775	1,131	1,445	昭和59年	1,896	63	96	40歳まで
26.京都	1,198	1,690	2,156	平成9年度	2,534	134	160	45歳まで
27.大阪	2,297	3,072	5,447	平成6年	7,661	230	387	45歳まで
28.兵庫	1,380	1,922	3,053	昭和55年度	3,543	115	70	支部による 50歳程度まで
29.奈良	689	1,076	1,379	昭和59年	1,761	65	51	40歳まで
30.和歌山	1,235	1,292	1,419	平成4年度	1,511	30	34	40歳まで
31.鳥取	984	1,066	1,552	昭和60年	1,931	65	157	45歳まで
32.島根	1368 （含補助会員）	1568 （含補助会員）	1897 （含補助会員）	平成12年度	2012	116	203	45歳まで
33.岡山	1,308	1,583	2,075	昭和50年頃	4,050	158	149	40歳まで
34.広島	1,637	1,989	2,820	昭和55年	3,578	142	463	50歳まで
35.山口	1,509	2,250	2,922	平成7年度末	3,481	114	184	45歳まで
36.徳島	975	1,142	1,856	不明	不明	100	不明	45歳まで
37.香川	1,310	1,570	1,928	昭和55年	2,650	140	267	45歳まで
38.愛媛	1,468	1,604	2,378	平成8年	2,692	123	223	45歳まで
39.高知	898	1,242	1,451	平成12年	1,618	108	280	45歳まで
40.福岡	1,931	2,232	3,000	昭和55年度	4,215	178	363	50歳まで
41.佐賀	813	977	1,231	平成11年	1,343	84	803	年齢規定無し
42.長崎	998	1,205	1,738	昭和55年	2,477	68	0	定めていない
43.熊本	1,284	1,568	2,195	平成4年度	2,539	133	213	40歳まで
44.大分	1,051	1,215	1,848	不明	不明	89	226	45歳まで
45.宮崎	940	1,345	1,815	昭和63年度頃	2,345	66	不明	支部により異なる
46.鹿児島	1,848	2,226	2,776	平成14年	2,776	129	251	45歳まで
47.沖縄	1,014	972	1,182	平成5年度	1,294	115	186	45歳まで

都道府県名	会員の種別、会費（親会費）、入会金								
	正会員会費 （親会費）	正会員 入会金	準会員会費 （親会費）	準会員 入会金	賛助会員会費 （親会費）	賛助会員 入会金	その他 会員種別	支部会費	支部会費の金額
1.北海道	15,000	0	12,000	0	15,000～	0	なし	ある	0～3,000
2.青森	11,000	1,000	11,000	1,000	14,000	1,000	なし	ある	3,000～5,000
3.岩手	16000 （盛岡支部）	1,000	なし	なし	20,000	なし	なし	ない	—
4.宮城	24,000	2,000	3,600	1,000	30,000～	0	家族会員 事業所会員	ある	0～10,800
5.秋田	15,000	3,000	15,000	3,000	15,000	3000	なし	ない	—
6.山形	9,000	2,000	5,000	0	20,000	2000	なし	ある	4,000～6,000
7.福島	7,000	1,000	0	0	10,000	0	同一世帯会員	ある	8,000～20,000
8.茨城	12,000	2,000	10,800	1,500	30,000	10,000	終身会員	ある	12,000
9.栃木	20,000	1,000	10,000	1,000	20,000	0	なし	ない	—
10.群馬	13,200	1,000	9,240	500	個人2,000 団体・企業10,000	0	0	ある	800～6,800
11.埼玉	12,000	2,000	6,000	2,000	20000	0	今後はなし	ある	3,000～10,000
12.千葉	15,300	2,000	15,300	2,000	20,000	0	名誉会員 特別会員	ある	5,700～8,700
13.東京	18,000	3,000	9,600	3,000	24,000	0	なし	ある	0～6,000
14.神奈川	20,000	2,000	15,000	1,000	1口　30.000	1	特別会員	ない	—
15.山梨	15,000	2,000	9,000	2,000	12,000	0	なし	ある	2,000～3,000
16.長野	24,000	2,000	14,400	2,000	20,000～	2,000	なし	ない	—
17.新潟	14,400	2,000	14,400	0	14,400	0	なし	ある	5,600～15,600
18.静岡	30,000	10,000	なし	なし	40,000	10000	なし	ない	—
19.愛知	18,000	4,000	14,400	3,000	30,000	0	特別準会員、ファミリー会員、一般会員	ない	—
20.岐阜	18,000	3,000	9,000	3,000	30,000	0	名誉会員 同居家族会員	ない	—
21.三重	20,000	3,000	19,000	3,000	10,000～	0	家族正会員、家族準会員、名誉会員	ない	—
22.富山	12,000	2,500	7,800	2,500	12,000～	なし	家族会員	ない	—
23.石川	12,600	3,000	9,600	3,000	任意	なし	名誉会員	ある	1,400～7,400
24.福井	13,800	2,000	2,000	0	5000	0	なし	ある	0～4,200
25.滋賀	18,000	2,000	15,000	2,000	20,000	なし	家族会員	ある	3,000～9,000
26.京都	18,000	2,000	15,600	1,500	36,000	0	なし	ある	0～6,000
27.大阪	19,800	4,000	14,400	4,000	30,000	0	特別準会員	ない	—
28.兵庫	16,800	3,000	16,800	0	30,000～	0	家族会員	ある	4,800
29.奈良	18,600	3,000	12,000	1,500	20,000～	なし	なし	ある	支部により異なる
30.和歌山	12,000	1,000	11,400	1,000	20,000～	なし	技士会員	ある	0～4,200
31.鳥取	12,000	0	10,000	0	12,000～ 60,000	0	資格会員、ファミリー会員、永年会員	ある	5,000～
32.島根	10,200	2,000	10,200	2,000	10,000	なし	なし	ある	0～5,000
33.岡山	12,000	3,000	12,000	3,000	20,000	0	家族割 グループ会員	ある	0～5,000
34.広島	12,000	3,000	12,000	3,000	30,000	0	なし	ない	—
35.山口	15,000	0	12,000	0	15,000	0		ある	0 ～3,000
36.徳島	8,000	3,000	8,000	3,000	20,000	0	なし	ある	6,000～10,000
37.香川	18,000	5,000	15,000	5,000	20,000	0	学生（準会員）	ない	—
38.愛媛	18,000	2,000	12,000	2,000	10,000	0	なし	ない	—
39.高知	1,200	3,000	9,600	3,000	10,000	0	名誉会員	ある	0～1,500
40.福岡	16,200	1,000	15,550	特になし	30,000	なし	なし	ない	—
41.佐賀	月額　1,200	3,000	月額　800	3,000	10,000～	なし	なし	ある	2,400～3,600
42.長崎	1,300	1,000	900	1,000	10,000	0	なし	ある	0～400
43.熊本	14,400	3,000	6,000	3,000	20,000	0	特別会員	ある	600～5,600
44.大分	9,600	1,000	9,600	1,000	2,500～ 15,000	0	なし	ある	4,800～14,400
45.宮崎	14,000	2,000	14,000	2,000	10,000	0	特別会員	ある	0～11,000
46.鹿児島	12,600	1,000	11,400	1,000	13,000	0	夫婦会員	ある	1,400～4,400
47.沖縄	16,800	4,000	8,400	4,000	20000～	0	なし	ない	—

1. 会員数（令和４年度末）

1位	東京	5,332
2位	北海道	3,621
3位	愛知	3,258
4位	大阪	2,297
5位	神奈川	2,265

43位	佐賀	813
44位	滋賀	775
45位	宮城	743
46位	三重	723
47位	奈良	689

2.10年前との会員数比較

	平成24年度末		令和4年度末
沖縄	972	⇒	1,014（104%）
宮城	1,178	⇒	743（63%）
富山	2,046	⇒	1,294（63%）
奈良	1,076	⇒	689（64%）
静岡	1,523	⇒	980（64%）
岐阜	1,444	⇒	951（66%）
全国平均	1,878	⇒	1,443（77%）

3.20年前との会員数比較

	平成14年度末		令和4年度末
宮城	2,025	⇒	743（37%）
大阪	5,447	⇒	2,297（42%）
兵庫	3,053	⇒	1,380（45%）
福島	3,415	⇒	1,571（46%）
群馬	2,735	⇒	1,261（46%）
全国平均	2,587	⇒	1,443（56%）

4.会員数が多かった年度と減少数

	多かった年度		令和4年度末
宮城	4,615（昭和52）	⇒	743（16%）
大阪	7,661（平成 6）	⇒	2,297（30%）
岡山	4,050（昭和50）	⇒	1,308（32%）
秋田	2,846（昭和58）	⇒	954（34%）
群馬	3,500（昭和58）	⇒	1,261（36%）
全国平均	3,234	⇒	1,443（45%）

5. 女性会員数

1位	**東京**	666
2位	**神奈川**	306
3位	**愛知**	278
4位	**北海道**	256
5位	**大阪**	230

42位	**静岡**	65
	奈良	
	鳥取	
44位	**滋賀**	63
45位	**秋田**	62
	三重	
47位	**和歌山**	30

6. 女性会員比率

1位	**神奈川**	13.5%
2位	**富山**	12.8%
3位	**東京**	12.5%
4位	**宮城**	12.3%
5位	**岡山**	12.1%

43位	**静岡**	6.6%
	鳥取	6.6%
45位	**秋田**	6.5%
46位	**福島**	4.8%
47位	**和歌山**	2.4%

全国平均	9.1%

7. 青年委員の年齢範囲

(概ね) 40歳まで	秋田、埼玉、東京、新潟、石川、滋賀、奈良、和歌山、岡山、熊本	**10都県**
(概ね) 45歳まで	青森、宮城、山形、福島、茨城、栃木、群馬、千葉、神奈川、山梨、静岡、愛知、三重、富山、福井、京都、大阪、鳥取、島根、山口、徳島、香川、愛媛、高知、大分、鹿児島、沖縄	**27府県**
(概ね) 50歳まで	長野、広島、福岡	**3県**
支部によって異なる	岩手、兵庫、宮崎	**3県**
定め無し	北海道、佐賀、長崎	**3県**
自分が青年と思う人	岐阜	**1県**

8．正会員の定義

A：「県（都・道・府）内に居住または勤務場所を有する建築士で、本会の目的に賛同して入会したもの」…北海道、青森、宮城、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、長野、三重、石川、京都、鳥取、岡山、徳島、香川、愛媛、福岡、長崎、熊本、宮崎、鹿児島	２６都道府県
B：「建築士法第5条により免許を受けた建築士」… 岩手、神奈川、新潟、静岡、愛知、富山、滋賀、大阪、奈良、和歌山、広島、山口、大分、沖縄	１４府県
C：「建築士及び建築士登録の資格ある者」… 山梨	１県
D：「県内に居住し、又は勤務する建築士法第5条により免許を受けた者」… 岐阜	１県
E：「建築士法第５条の免許を受けた建築士で当法人の目的に賛同して入会した個人」… 福井	１県
F：「建築士法第5条の免許を受けた建築士で県内に住所又は勤務場所を有するもの」… 兵庫	１県
G：「本会の事業に賛同して入会した建築士の資格を有する者」… 島根、高知	２県
H：「木造、二級、一級の有資格者　県外在住でも可」… 佐賀	１県

9. 正会員の会費（親会費）年額

1位	福島	7,000
2位	徳島	8,000
3位	山形	9,000
4位	大分	9,600
5位	島根	10,200

42位	栃木 神奈川 三重	20,000
45位	宮城 長野	24,000
47位	静岡	30,000

全国平均	15,355

11. 準会員の会費（親会費）年額

1位	岩手 福島 静岡	0
4位	長崎	900 （月額？）
5位	福井	2,000

43位	千葉	15,300
44位	福岡	15,550
45位	京都	15,600
46位	兵庫	16,800
47位	三重	19,000

全国平均	10,304

10. 正会員の入会金

1位	北海道 鳥取 山口	0
4位	青森、岩手 福島、栃木 群馬、和歌 山、福岡、 長崎、大分 鹿児島	1,000

43位	愛知 大阪 沖縄	4,000
46位	香川	5,000
47位	静岡	10,000

全国平均	2,309

12. 準会員の入会金

1位	北海道、 岩手、山形 福島、新潟 静岡、福井 兵庫、鳥取 山口、福岡	0

全国平均	1,713

32位	秋田、東京 愛知、岐阜 三重、石川 岡山、広島 徳島、高知 佐賀、熊本	3,000
44位	大阪、沖縄	4,000
47位	香川	5,000

13. 支部会費

あり	北海道、青森、宮城、山形、福島、茨城、群馬、埼玉、千葉、東京、山梨、新潟、石川、福井、滋賀、京都、兵庫、奈良、和歌山、鳥取、島根、岡山、山口、徳島、高知、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島 **31都道府県**
なし	岩手、秋田、栃木、神奈川、長野、静岡、愛知、岐阜、三重、富山、大阪、広島、香川、愛媛、福岡、沖縄 **16府県**

事務局データ：会員増強の取組みについて

1. 会員増強の取組み

している	北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、千葉、東京、神奈川、山梨、長野、静岡、愛知、岐阜、三重、石川、福井、滋賀、京都、大阪、和歌山、鳥取、岡山、広島、山口、香川、高知、福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、沖縄 **38都道府県**
これからする予定	埼玉、富山、兵庫、奈良、島根、愛媛 **6県**
していない	新潟、徳島、鹿児島 **3県**

2. 会員増強に取り組む部署（委員会）

ある	北海道、青森、岩手、宮城、山形、福島、茨城、栃木、群馬、千葉、神奈川、長野、新潟、静岡、愛知、岐阜、福井、滋賀、京都、和歌山、鳥取、岡山、広島、香川、福岡、佐賀、長崎、宮崎 **28道府県**
これから作る予定	兵庫、島根、愛媛 **3県**
ない 特別設けていない	秋田、埼玉、東京、山梨、三重、富山、石川、大阪、奈良、山口、徳島、高知 熊本、大分、鹿児島、沖縄 **16都府県**

3. 会員増強に取り組む部署（委員会）の名前

会員委員会、**会員業務**委員会、**会員増強**委員会、**会員増強推進**チーム、**会員増強推進**特別委員会、
会員増大推進特別委員会、**会員増強**特別委員会、**会員増強**部会、**会員厚生**委員会
建築士育成特別委員会、**制度**委員会、**組織**委員会、**特命**委員会
総務企画委員会、総務財務委員会、総務委員会、総務情報委員会、
青年委員会、女性委員会
理事会、常任理事会、支部長会
士会全体
サポートの会チームエイド

4. 会員増強の取組み（予定も含む）

入会勧誘、**入会案内**チラシ作成、**入会案内**パンフレットを配布、**ホームページ**に入会案内情報を掲載、入会**キャンペーン**、入会者と紹介者にクオカード**プレゼント**
資格学校の**合格祝賀会**、**免許交付式**でPR、定期講習案内に**入会申込書**を同封
事務所協会の未入会会員を**勧誘**、**CPD登録制度**で勧誘、**知り合い**を勧誘
建築系学生への技術支援（建築甲子園等）、イベントの際に**大学生**等に声かけ、大学教員との懇談会
特別準会員の入会費、年会費の**無料化**、**けんちく寺子屋**、等

5. 事務局として考えていること

入会者獲得のための**受験産業**との適度なお付き合い、青年委員会や女性委員会の**活動に期待**、ホームページの**入会案内**ページをリニューアル、同一**会社会員**、**所長や社長**への**お声掛け運動**、**けんばい保険**、会員限定商品(企画)についてけんばい保険と同様に企画、積極的な活動、柔軟な対応、**賛助会員**を増やす提案とともに申込書を郵送、多様な**オンライン講習会**により建築士会を周知、**インスタ**の発信・**SNS**の活用、**一般市民**への広報の充実、戦略的**広報**、**現会員をとどめる**ことも最重要課題、委員会等に若い人が参加できる環境づくり、**高校生**に対し職業紹介の冊子を配布、**大学・高専・工業高校・各種専修・職訓**の優秀な生徒を表彰、免許登録に来られた方への入会の案内、**行政**や法人への働きかけ、士会に入ることによるメリットの創出、会員からのお声かけ、**行政**関係の入会、会員1名につき新規会員1名を連れてくる（初年度会費**無料**）、新規登録者以外の建築士を掘り起こす、将来の建築士を育成を目指し、**建築系学生**との協働作業を継続、**会員サービス**の拡充

6. その他　自由記入欄

・会員増強についてはとにかく今やらなければいつ?、誰が？やるのか会員増強の予算拡大とそのと政策を実行するのか? 国の少子化問題同様**今すぐにできる限りの予算と政策を投入すべき**「後で検討する。」は、「やらない」と言っているのと同じである。誰かがやるのではなく、まず、自分からアクションを起こすこと動くことである。誰も会員増強は簡単ではないためすぐにやってはくれない。

・今後の**建築士会の在り方**について、再度検討する必要がある。公益事業を行う事により赤字となり、会費の減少など財政赤字が増加傾向にある。

・人口減少、高齢化により会員数が減少するのは当然のことです。さらに、**建築士会は入会しなくても特に困ることがない団体**ですので、個人や家庭の生活を大切にする（休日や時間外は仕事から離れる）ことが当たり前になっているので**若い方はたとえ会費が０円でも入会されません**。「入会しない建築士は仕事に差し支える」ような何かがなければ、入会を促進することは難しいと思います。ちなみに、当会では、令和５年３月３１日現在で、**正会員の約半数（７５３人）が６０歳以上の方**です。

・会員さん自身が、「**建築士会のメリットがわからない**」と言われている事に戸惑います。将来的に建築士会に所属しないと建築士として仕事が出来ないような組織になれば、と思います。

・このアンケートは女性セッションアンケートとなっておりますが、このアンケートを全国大会の折に、どうゆう使い方をするのでしょうか？どうゆう使い方をして→どうゆう議論があり→どうゆう結論を導き出したのかを各県士会へ開示してほしいと思います。

・毎年「士会組織調査」で報告を上げているので、そこと重複する部分の項目については、回答を省略できる形にしもらいたい。連合会に毎年各士会から集めているデータがあるはずです。

・建築士会の**存在意義が薄れている**ように考える。会の退会理由として「メリットがない」と書く者がいるが、そうした場合ほど**本会活動に参加していないことが多い**。せめて業を行う場合には（弁護士や行政書士のように）入会が**義務付けらないか？**と考える。（士法で規定されるのが一番だが、規制緩和の時代にありえない話？）このままでは、近い将来、存続の危機が訪れるのではないか。

参考：会員増強活動の対象

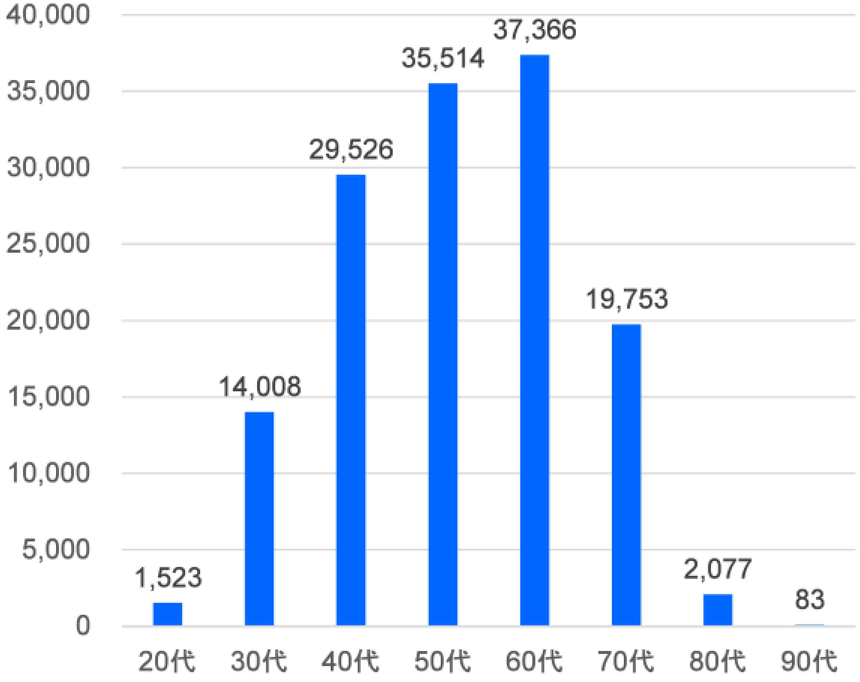
（２）建築行政関係

一級建築士（所属建築士）の数・年齢構成

国土交通省

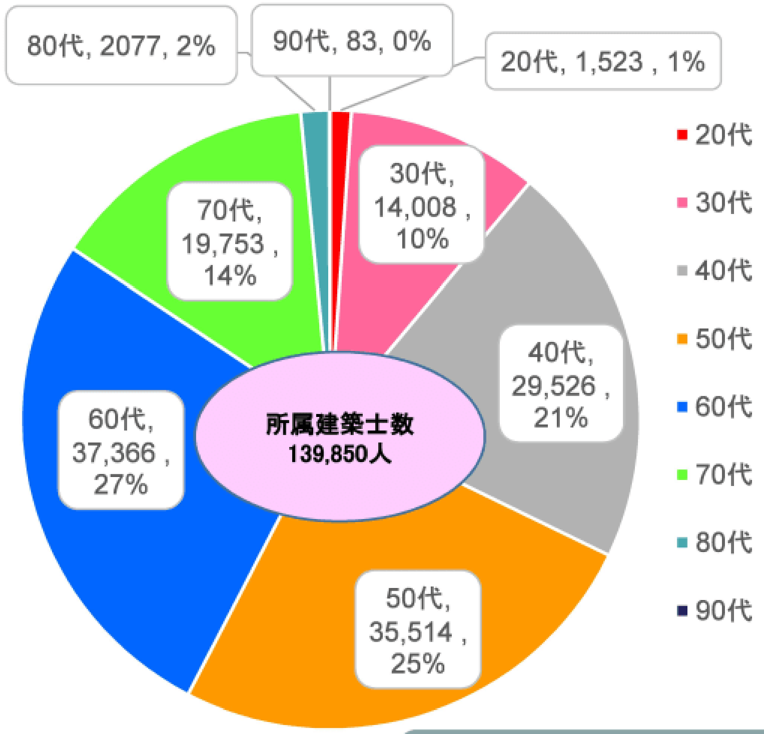
〇登録している一級建築士約37万人のうち、所属建築士は約14万人。
〇所属建築士のうち、50代以上が全体の６５％以上を占めている。

年代別所属建築士数



（令和3年4月1日時点）

年代別所属建築士分類

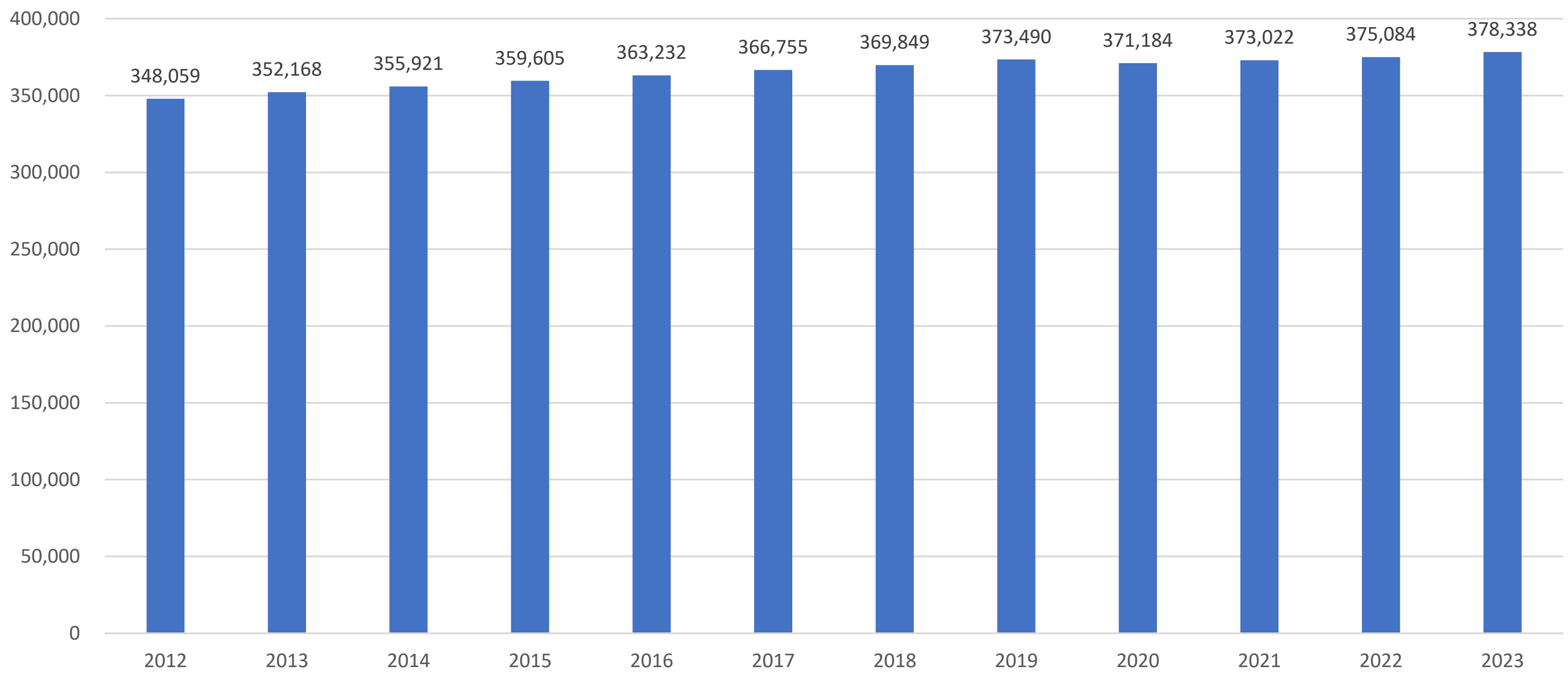


資料:「一級建築士名簿」ならびに「一級建築士事務所登録簿」より国土交通省にて作成

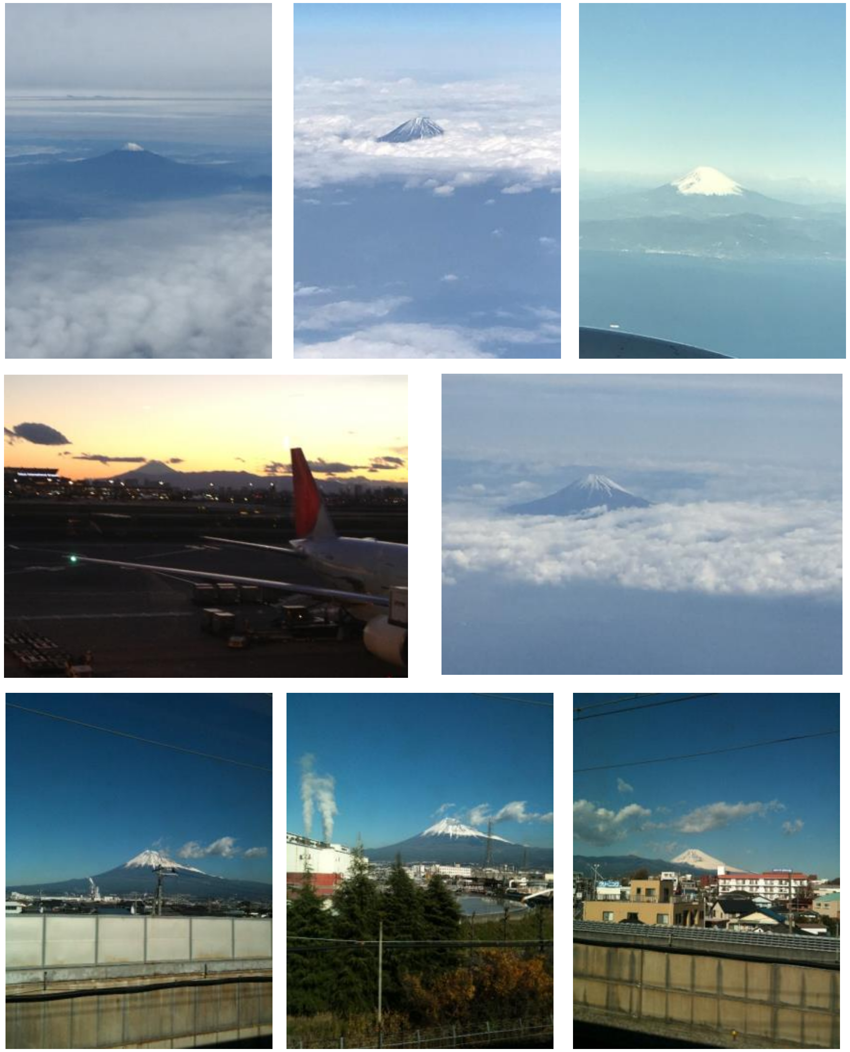
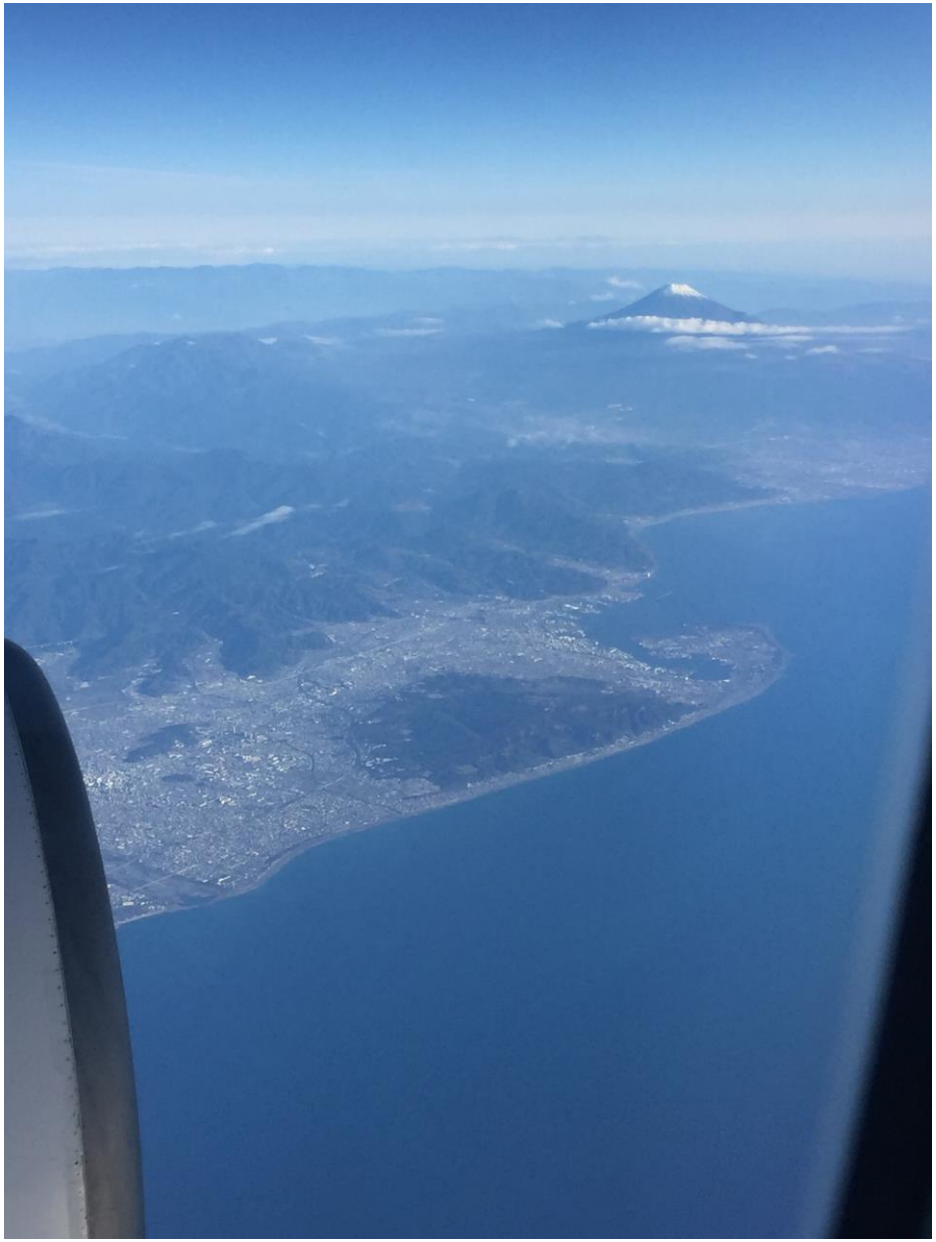
※一級建築士の登録数
373,022人（R3.4.1時点）

※所属建築士 ： 建築士事務所に所属している建築士
（建築士が設計、工事監理、その他の業務を業として行うときは、建築士事務所に所属していることが必要）

参考：一級建築士登録者数の推移



ご清聴ありがとうございました



出張中に撮影した富士山写真コレクション